

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の考察

苫小牧市

公表

令和4年9月2日

苫小牧市教育委員会 教育部 指導室

# 目次

## ○令和4年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

・調査の概要	1
・小学校国語科	2
・小学校算数科	3
・小学校理科	4
・中学校国語科	5
・中学校数学科	6
・中学校理科	7

## ○令和4年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査の結果と考察

・学習に対する興味・関心等（国語）	8
・学習に対する興味・関心等（算数）	9
・学習に対する興味・関心等（理科）	11
・規範意識・自己有用感	13
・生活習慣・学習習慣	15
・地域や社会への関心	19
・ICTの活用	20
・学校生活	21

## ○令和4年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学3年生徒）調査の結果と考察

・学習に関する興味・関心等（国語）	25
・学習に関する興味・関心等（数学）	26
・学習に関する興味・関心等（理科）	28
・規範意識・自己有用感	30
・生活習慣・学習習慣	32
・地域や社会への関心	36
・ICTの活用	37
・学校生活	38

## ○令和4年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

・学力向上に向けた取組	42
・ICT機器の活用	43

# 令和4年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

令和4年9月2日 苫小牧市教育委員会

- ・平均正答率については、四捨五入した整数値で公表しております。
- ・平成30年度まで国語と算数・数学は、A問題（主として知識に関する問題）、B問題（主として活用に関する問題）に分かれて実施されていましたが、平成31年度調査より知識・活用を一体的に問う調査問題と変更されました。
- ・令和2年度全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症に係る影響のため中止となり、児童生徒質問紙のみ実施しました。令和2年度の数値は参考値となります。

## 調査の概要

- 1 実施日  
令和4年4月19日（火）
- 2 調査対象  
(1) 小学校第6学年  
(2) 中学校第3学年
- 3 対象学校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
苫小牧市	23	1,362	15	1,287
北海道	949	34,310	568	32,940

- 4 調査事項  
(1) 教科に関する調査  
小学校…国語、算数及び理科の3教科  
中学校…国語、数学及び理科の3教科  
(2) 生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査  
①児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）  
②学校に対する調査（指導方法、教育条件の整備等）

## 苫小牧市の小・中学校における全体的な傾向

(学力に関すること)

- ☆小学校の国語及び理科の平均正答率は全国平均とほぼ同等となっています。
- ★小学校の算数の平均正答率は全国平均と2%程度の差があります。
- ★中学校の国語及び理科の平均正答率は全国平均と3%程度の差があります。
- ★中学校の数学の平均正答率は全国平均と7%程度の差があります。

(家庭学習に関すること)

- ☆児童生徒質問紙から、小・中学校ともに、「家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)」と回答した割合が、全国平均を上回っています。
- ☆学校質問紙から、家庭学習に関する取組状況が、全国平均を大きく上回っています。
- ★児童生徒質問紙から、小・中学校ともに「家庭学習の時間」は全国に比べ短い傾向にあります。

(生活に関すること)

- ★児童生徒質問紙から、小・中学校ともに1日のテレビゲームの利用時間(コンピュータゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む)やSNS、動画視聴の時間が全国平均を上回っています。

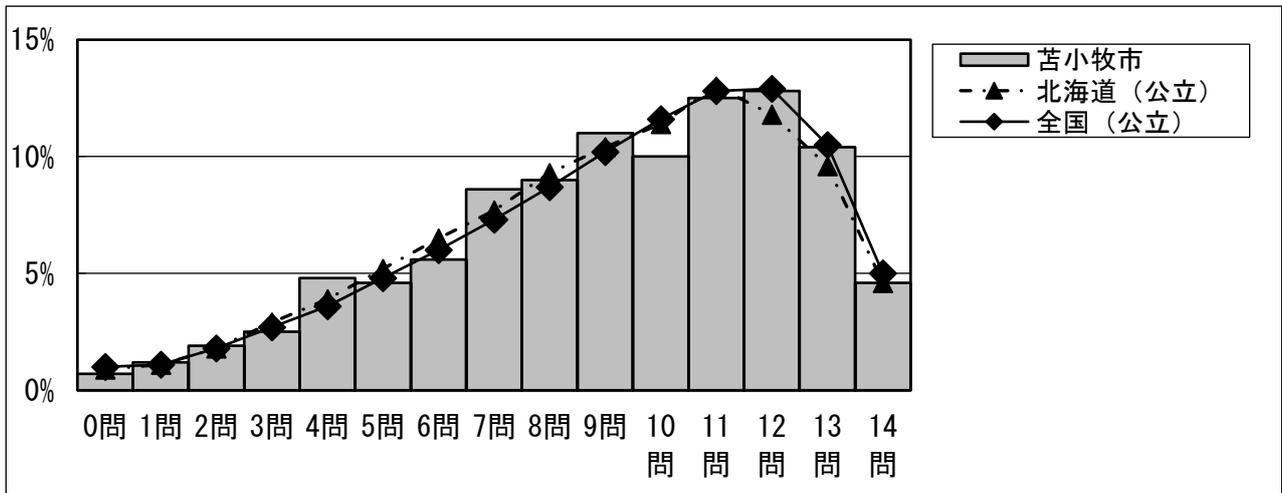
(いじめに関すること)

- ☆児童生徒質問紙から、小・中学校ともに、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答した割合が、全国平均を上回っています。

調査結果概況 [国語]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



小学校 国語科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	9.1 / 14	65
北海道	9.0 / 14	64
全国	9.2 / 14	65.6

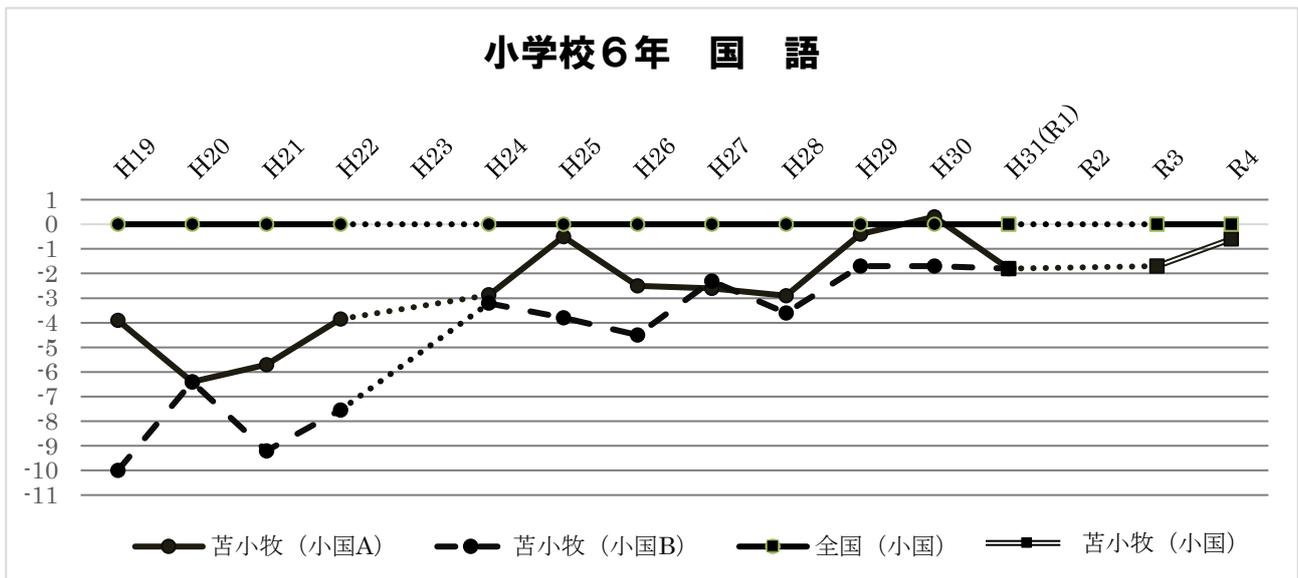
平均正答数

出題数に対する正答数の  
の平均値

平均正答率

問題数を100%とし  
た時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



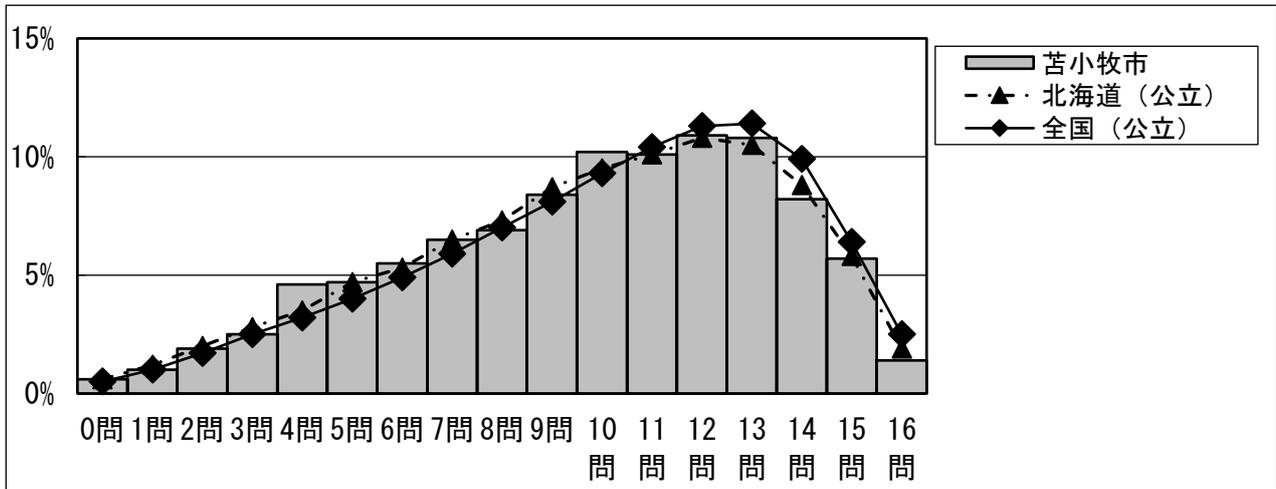
分析と考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字に関する問題において、全国平均を上回っており、漢字を文の中で正しく使うことができています。
- 「書くこと」では、条件に合わせて自分の主張が明確に伝わるように60字から100字にまとめることについて、全国平均を下回っています。また、無解答率が17%であり、課題が見られます。

調査結果概況 [算数]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



小学校 算数科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	9.7 / 16	61
北海道	9.6 / 16	61
全国	10.1 / 16	63.2

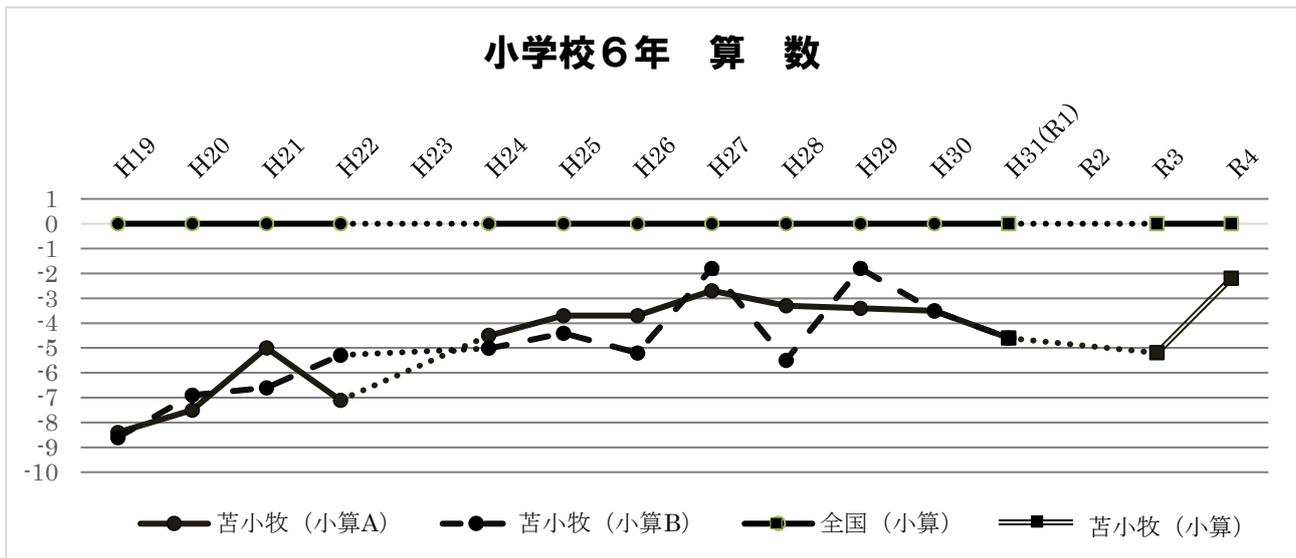
平均正答数

出題数に対する正答数の  
の平均値

平均正答率

問題数を100%とし  
た時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



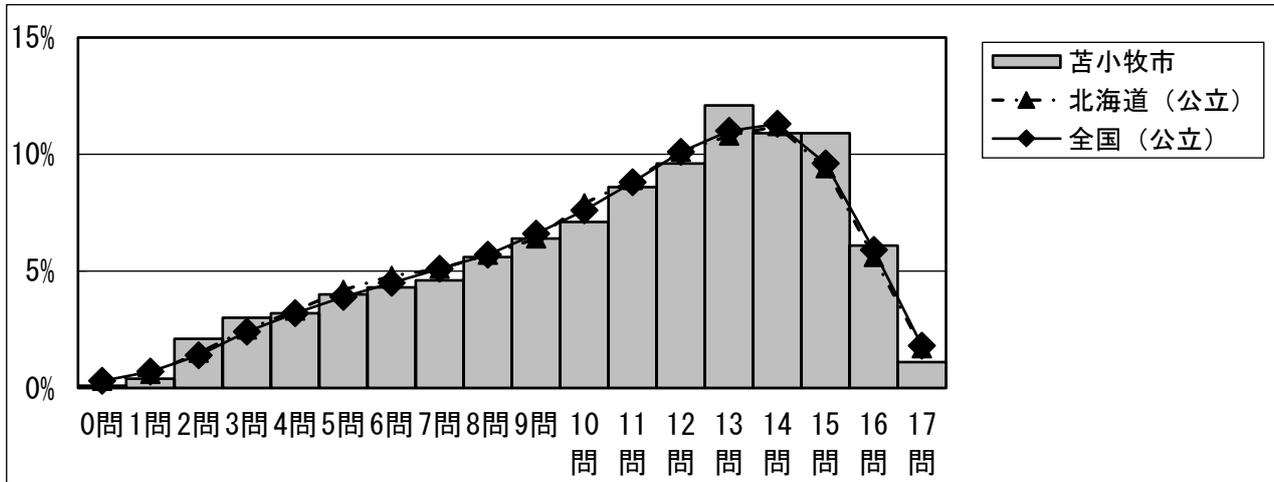
分析と考察

- 4桁×1桁の計算では平均正答率が約90%であり、最小公倍数を求める問題では、平均正答率が全国平均を上回るなど、「数と計算」では内容の定着が図られています。
- 「変化と関係」では、平均正答率が50%であり、多くの児童にとって理解が不十分な状態であるとうかがえます。特に、割合に関する問題に課題が見られます。
- 「記述式」の正答率が全国平均を下回っています。式の理由を書くことや考え方を式や言葉を使って書くことに課題が見られます。

調査結果概況 [理科]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



小学校 理科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	10.8 / 17	63
北海道	10.7 / 17	63
全国	10.8 / 17	63.3

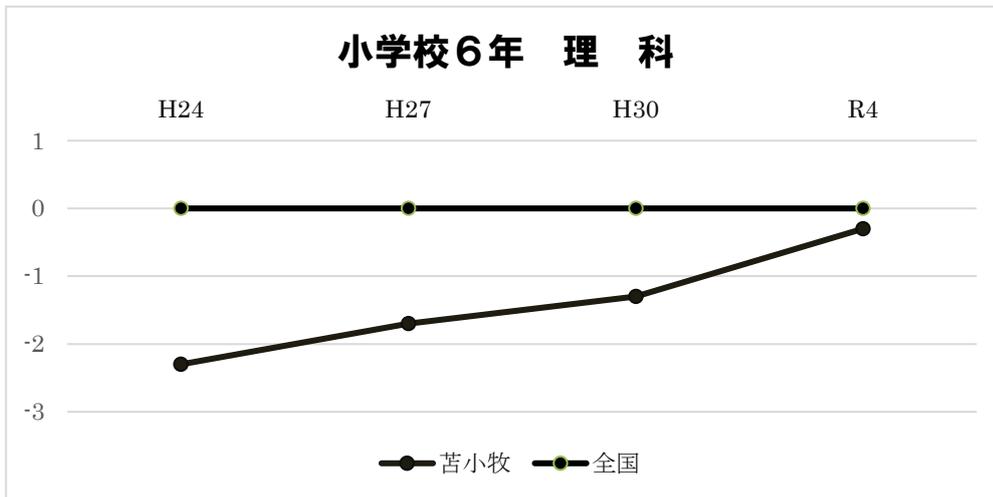
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



分析と考察

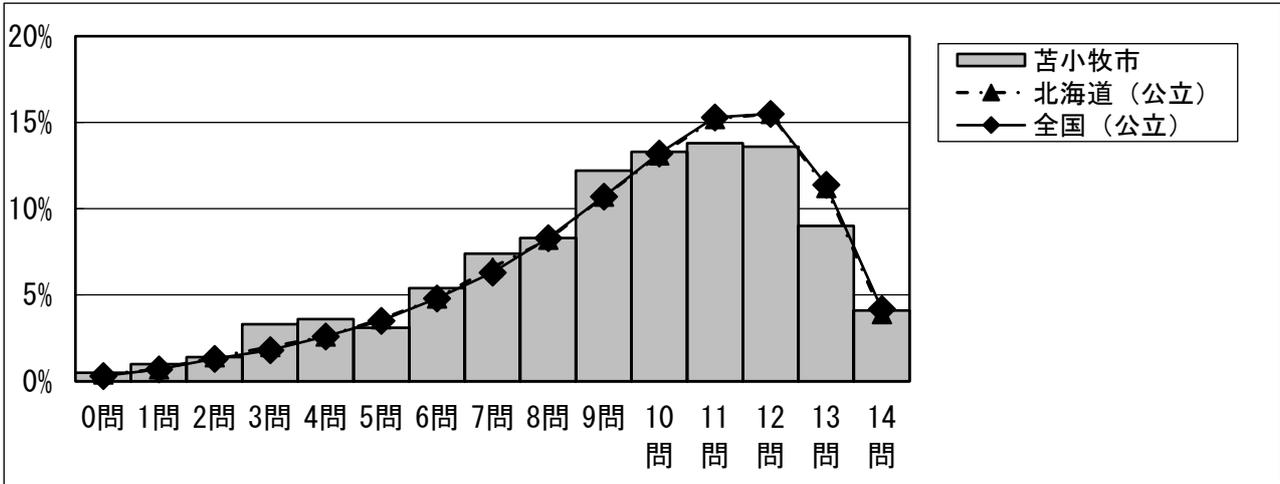
○「短答式」、「記述式」における平均正答率は、全校平均を上回っています。実験の結果からいえることを書く問題で、成果が出ています。児童質問紙調査でもわかるように、授業において、予想や仮説の設定、考察、振り返りを丁寧にできているとうかがえます。

●「地球」を柱とする領域では、平均正答率が全国平均を下回っています。特に、気温の変化に関する問題に課題が見られます。気温の変化の仕方について、観測結果からいえることをまとめる学習が必要であるとうかがえます。

調査結果概況 [国語]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 国語科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	9.3 / 14	66
北海道	9.6 / 14	69
全国	9.7 / 14	69.0

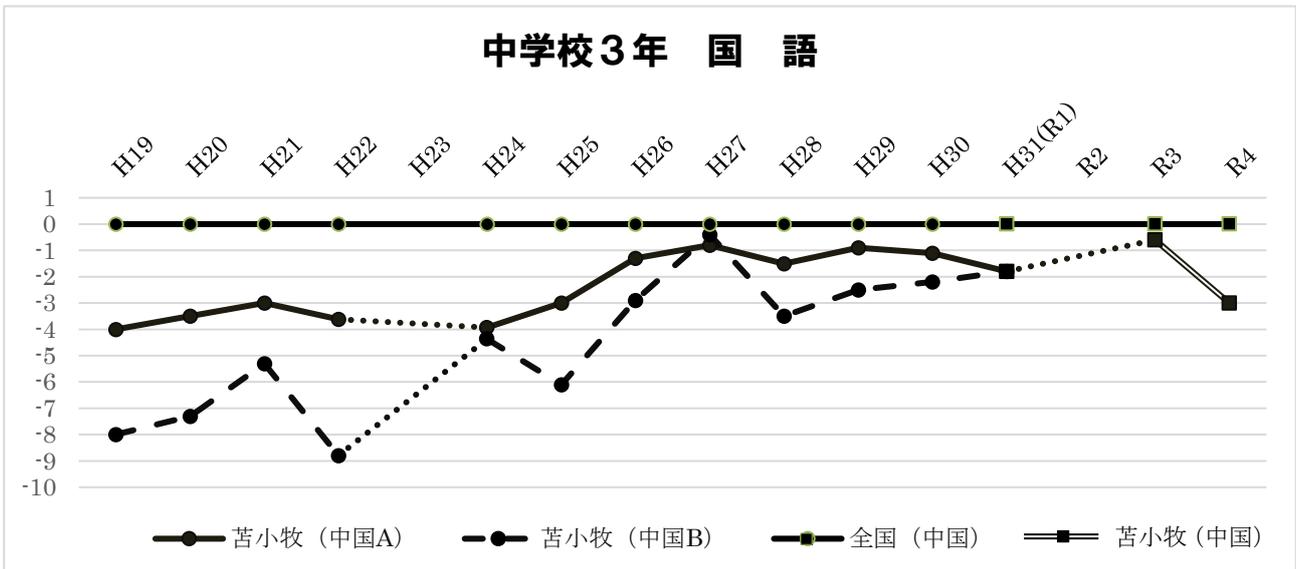
平均正答数

出題数に対する正答数の  
の平均値

平均正答率

問題数を100%とし  
た時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



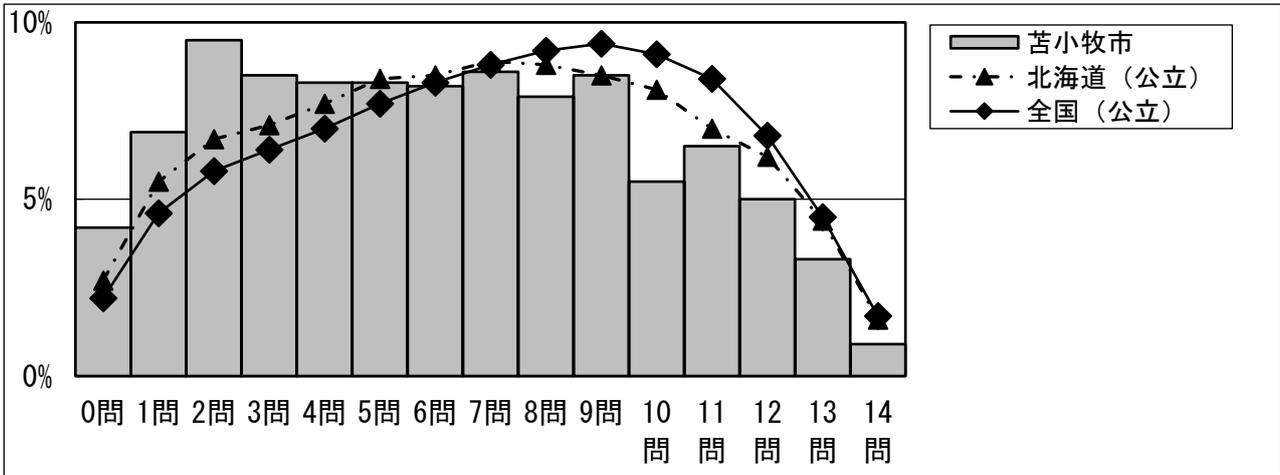
分析と考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字に関する問題において、平均正答率が約80%であり、多くの生徒が漢字を文の中で正しく使うことができています。
- 「記述式」では、平均正答率が全国平均を下回っています。さらに、平均無解答率が全国平均を上回っています。他者に伝わるように条件に合わせて記述することや話し方の工夫について具体的に記述することに課題があります。

調査結果概況 [数学]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 数学科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	6.2 / 14	44
北海道	6.9 / 14	49
全国	7.2 / 14	51.4

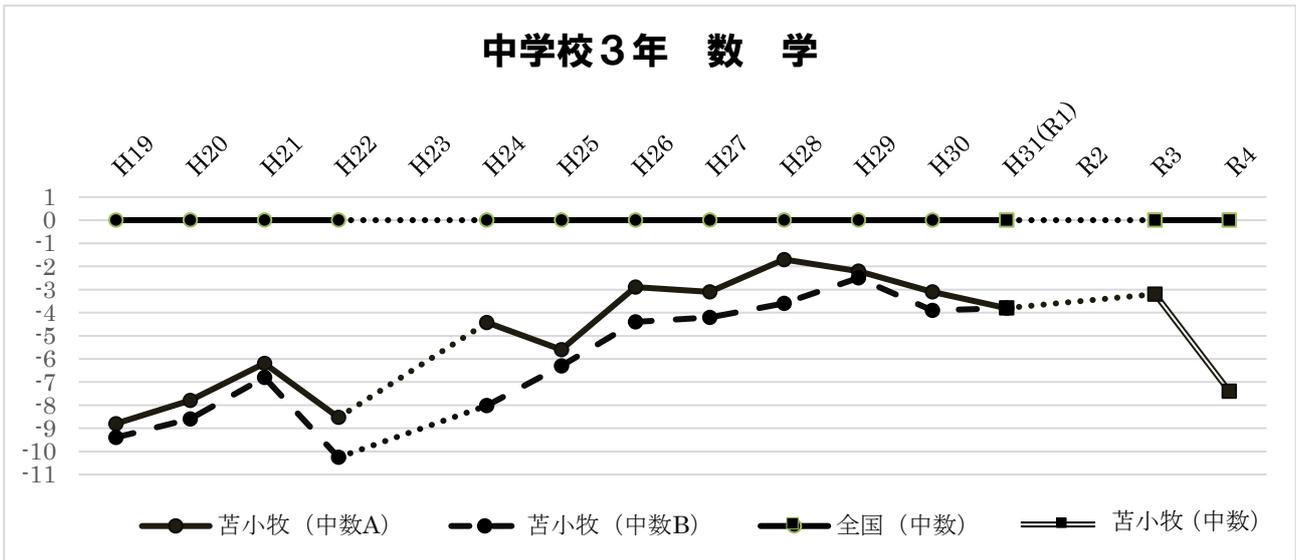
平均正答数

出題数に対する正答数の  
の平均値

平均正答率

問題数を100%とし  
た時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



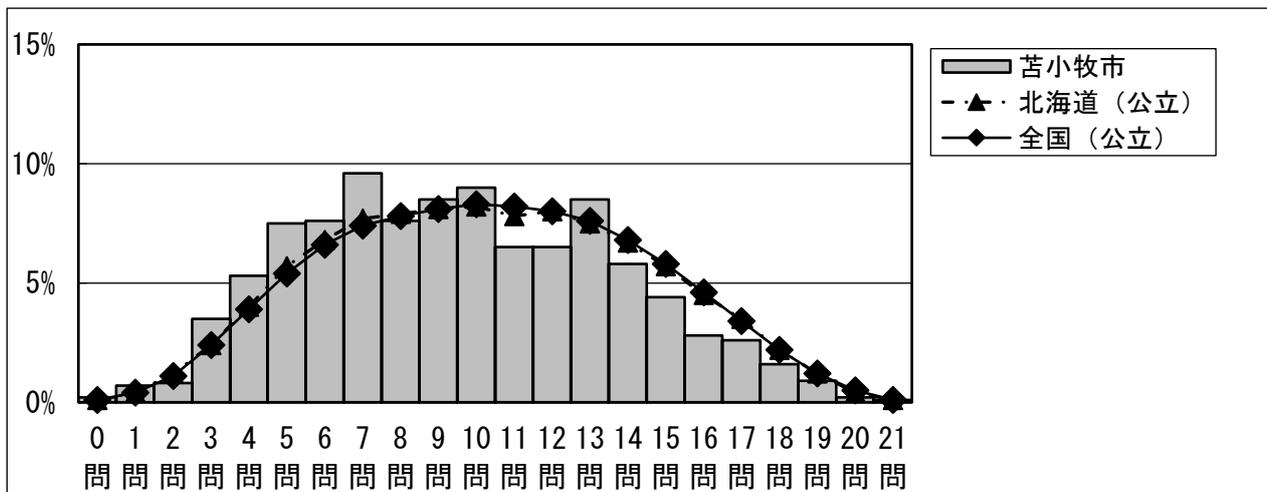
分析と考察

- すべての問題で全国平均を下回っています。特に、「知識・技能」の観点では、平均正答率が全国平均を大きく下回っています。数式を用いて説明することに課題が見られます。
- 正答数4問以下の生徒数が全体の約40%います。基礎・基本の定着や日常の具体的な場面で知識・技能を活用することに課題をもつ生徒多く見られます。

調査結果概況 [理科]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 理科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	9.6 / 21	46
北海道	10.3 / 21	49
全国	10.4 / 21	49.3

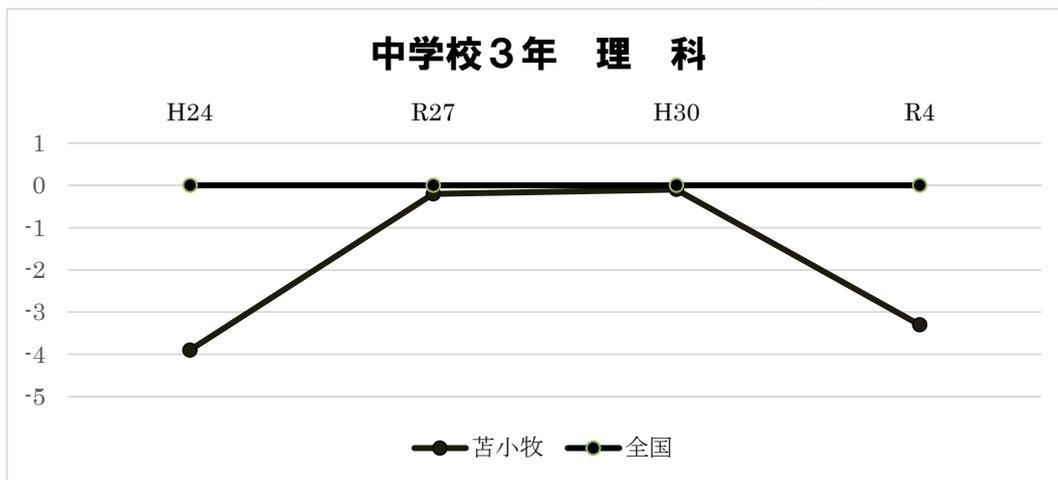
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



分析と考察

○化学反応式を選択する問題では、平均正答率が約80%と多くの生徒が理解しているとうかがえます。

●「記述式」の問題では、平均正答率が全国平均を下回っています。実験の計画の一部を書くことや根拠を書くことなどに課題が見られます。

●「思考・判断・表現」の観点では、平均正答率が全国平均を下回っています。実験を計画すること、考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善すること、結果を分析することにおいて課題が見られます。

# 令和4年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

## 小学6年児童

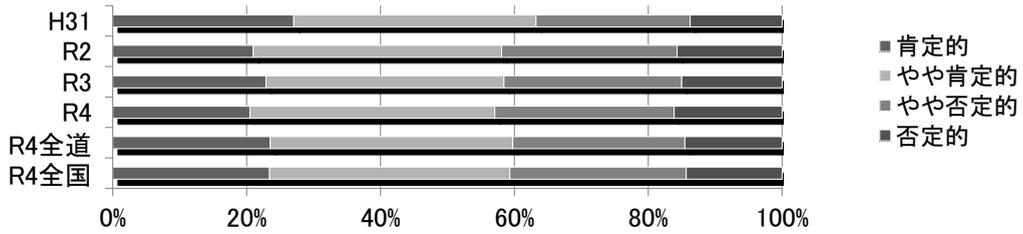
・令和2年度は参考値です。

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

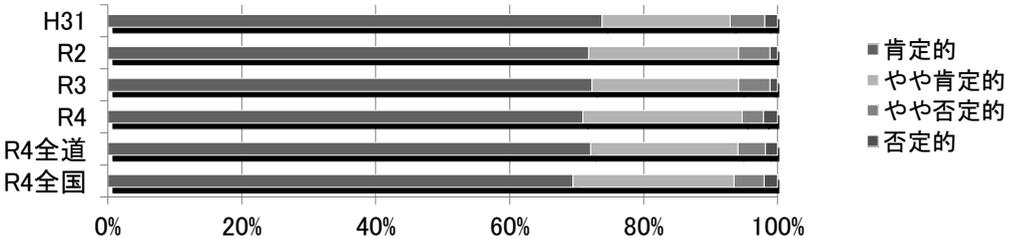
### 学習に対する興味・関心等 （国語）

【考察】 どの設問においても、全国と同等の結果であるといえる。児童の興味・関心を引き出しながら、学習内容の定着ができるような授業を行っているとうかがえる。

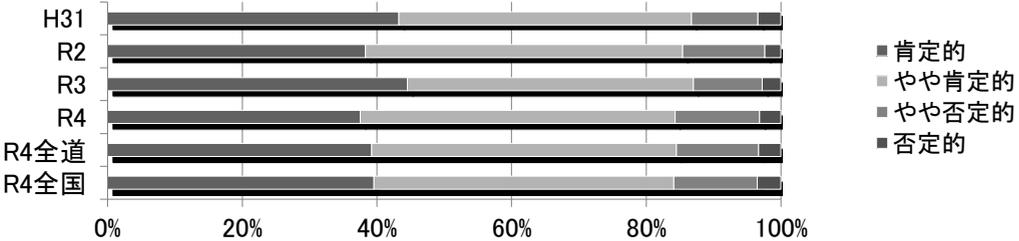
49 国語の勉強は好き。



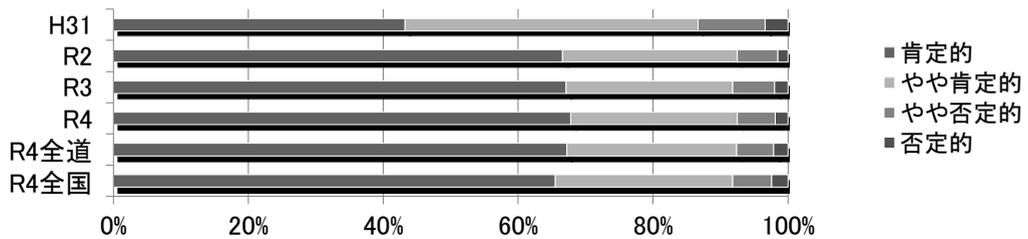
50 国語の勉強は大切だと思う。



51 国語の授業の内容はよく分かる。

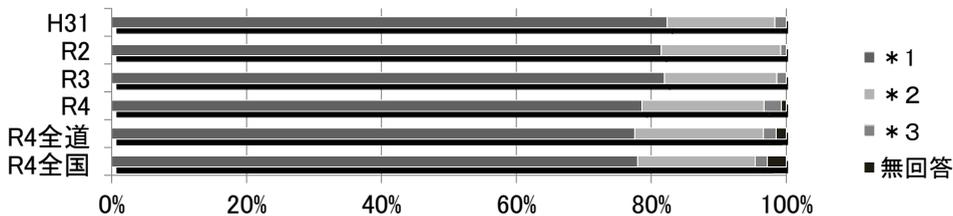


52 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



国(1) 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

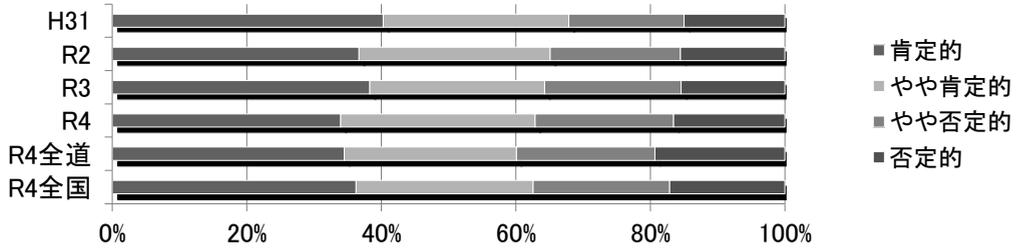
- \* 1：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 2：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- \* 3：書く問題は全く解答しなかった。



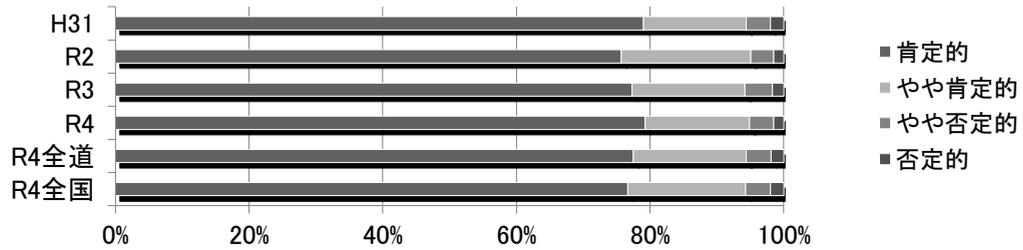
学習に対する興味・関心等  
(算数)

【考察】 どの設問においても全国と同等の結果であるといえる。「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。」や「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。」と回答した割合は約70%であり、算数の授業が深い学びになっていることがうかがえる。

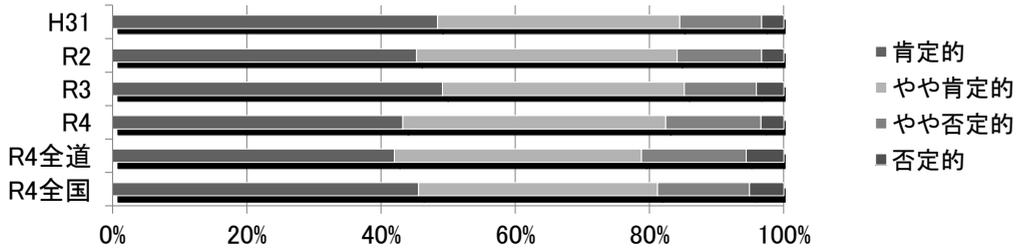
53 算数の勉強は好き。



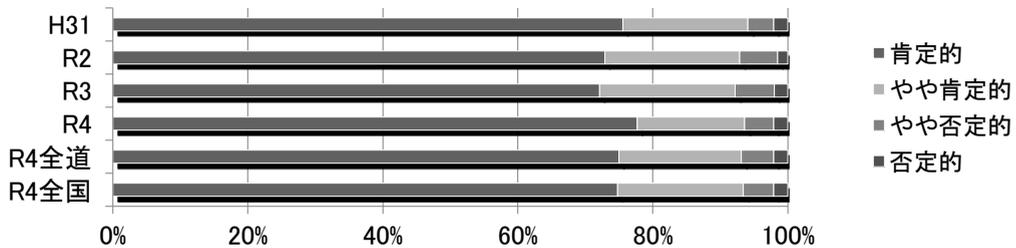
54 算数の勉強は大切だと思う。



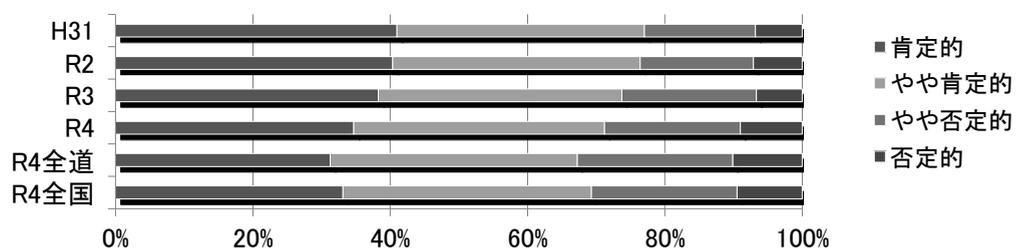
55 算数の授業の内容はよく分かる。



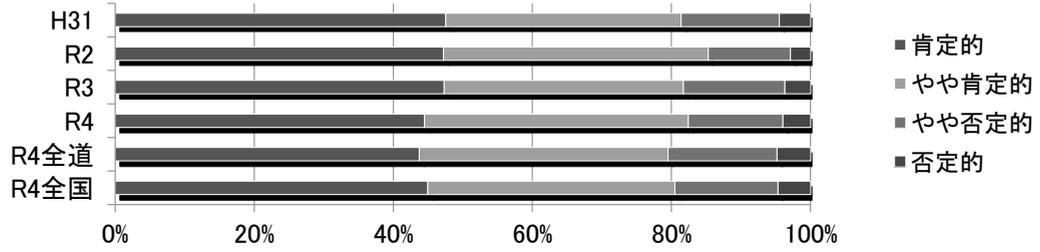
56 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



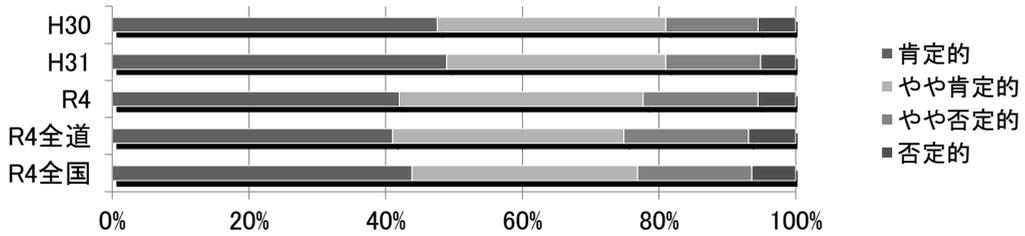
57 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



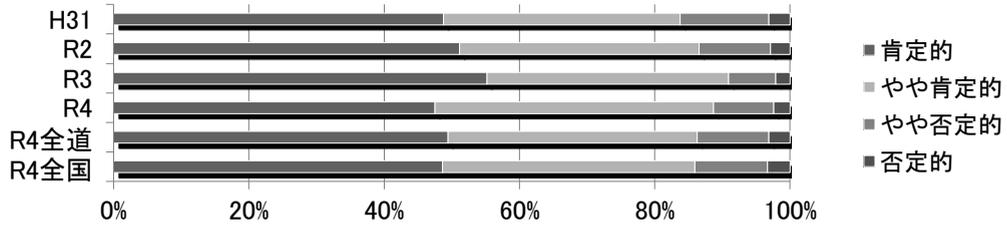
58 算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える。



59 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。

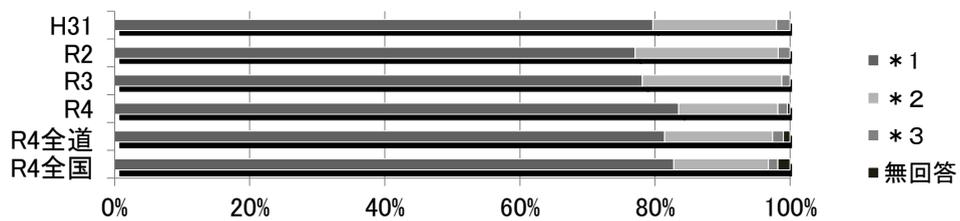


60 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。



算(1) 今回の算数の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

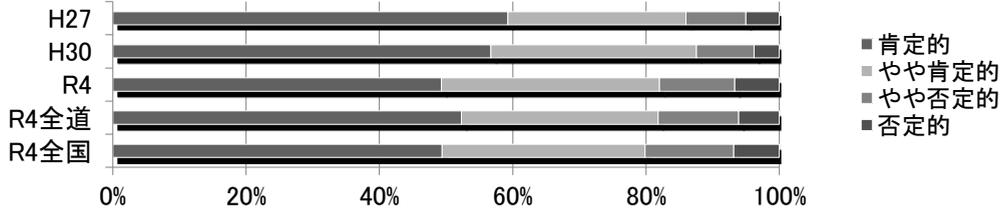
- \* 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- \* 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



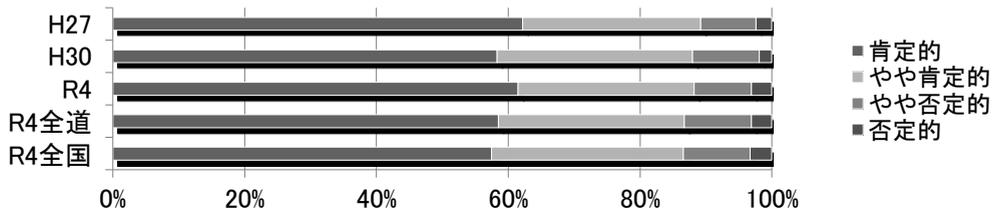
## 学習に対する興味・関心等 (理科)

【考察】 どの設問においても、全国と同等の結果であるといえる。「理科の授業の内容はよく分かる。」及び「観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。」と回答した割合は約90%であり、理科の授業において仮説や予想の設定、考察、振り返りが位置づけられることで、知識の定着が図られているとかがえる。

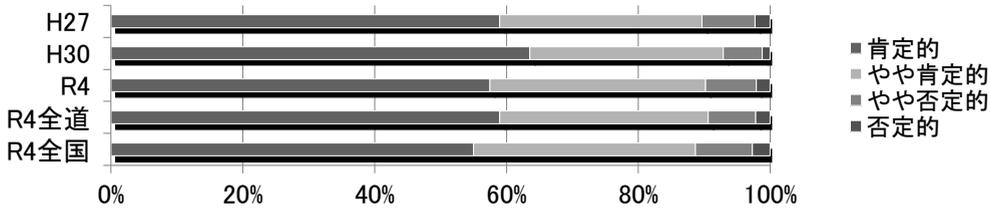
61 理科の勉強は好き。



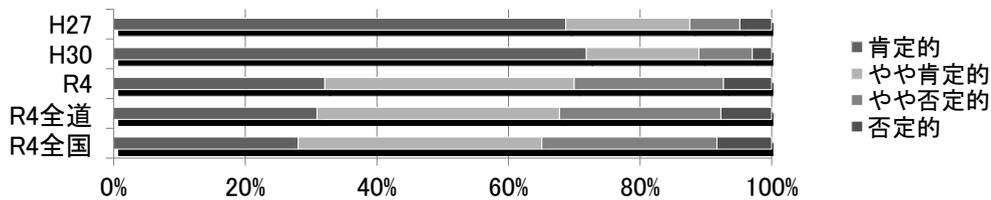
62 理科の勉強は大切だと思う。



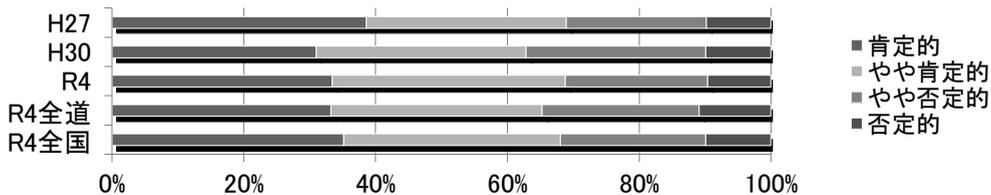
63 理科の授業の内容はよく分かる。



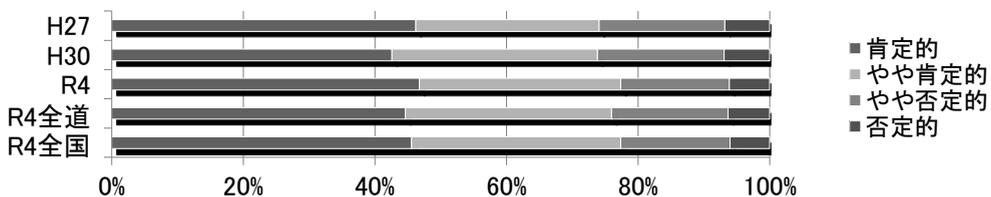
27 自然の中で遊んだことや自然観察をすることがある。



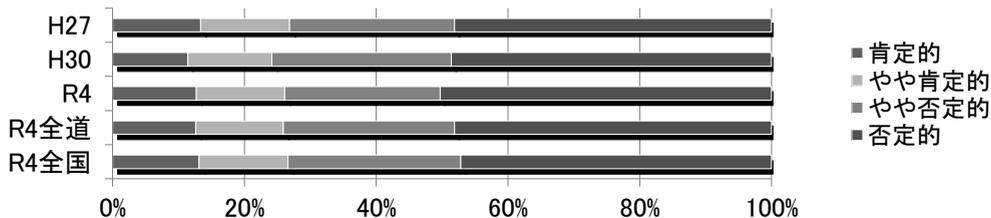
64 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



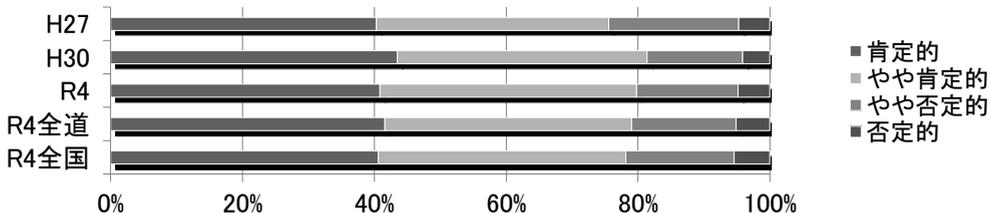
65 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



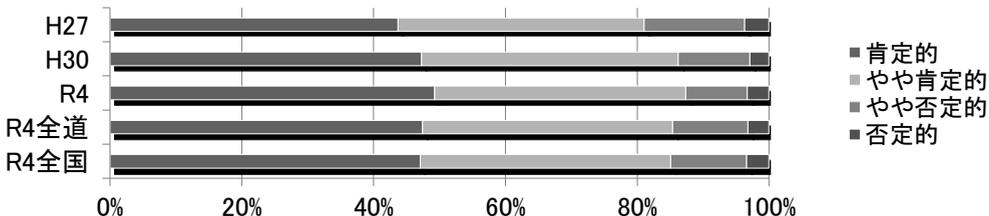
66 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。



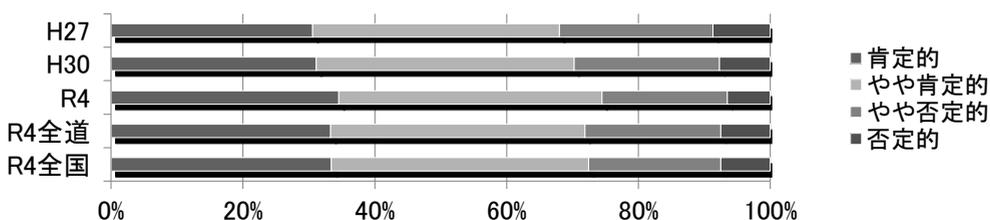
67 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。



68 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。

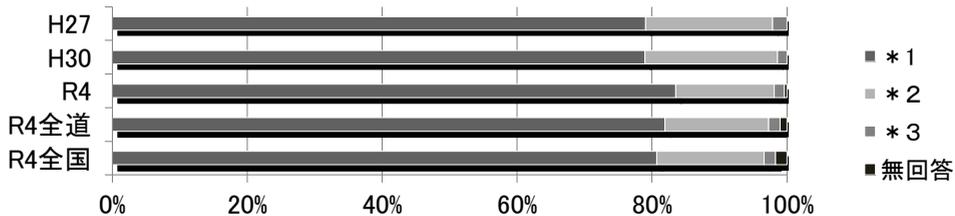


69 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。



理(1) 今回の理科の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

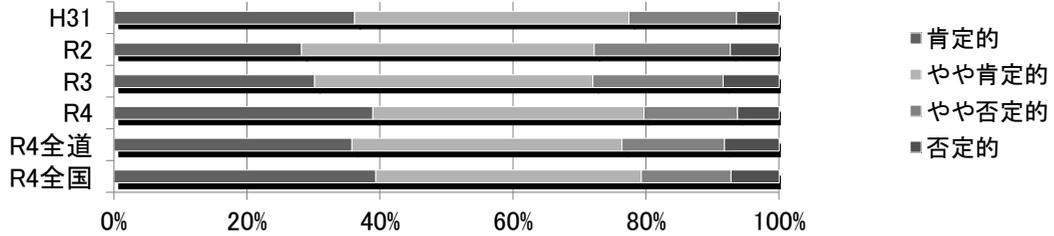
- \* 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった。
- \* 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



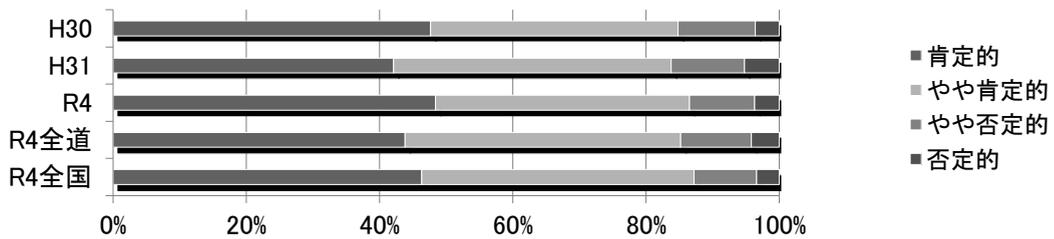
## 規範意識・自己有用感

【考察】 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」と回答した割合が全国平均を大きく上回っている。各学校におけるいじめ等の問題に対する取組の成果がみられるが、肯定的な回答が100%になるよう取組を継続する必要がある。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」と回答した割合は85%である。誰もが、自己有用感を高められるような取組が必要であるとうかがえる。

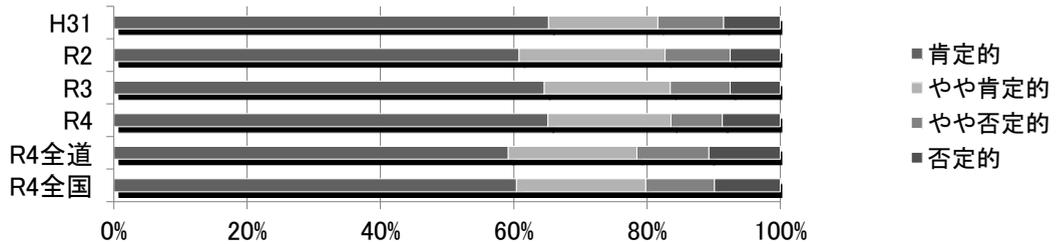
7 自分には、よいところがあると思う。



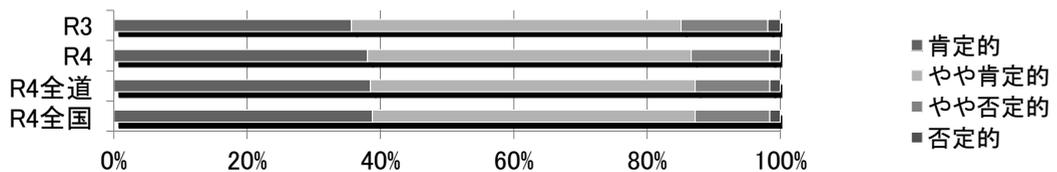
8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



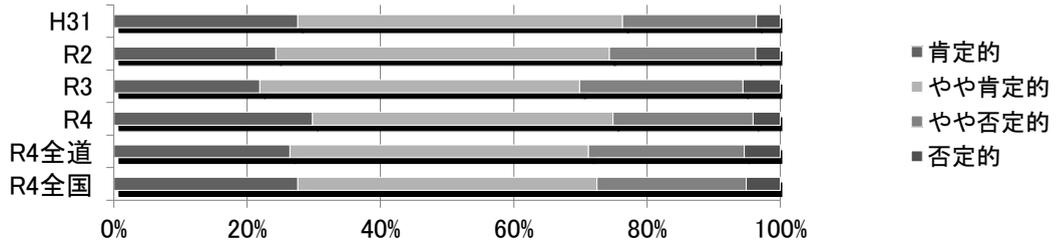
9 将来の夢や目標を持っている。



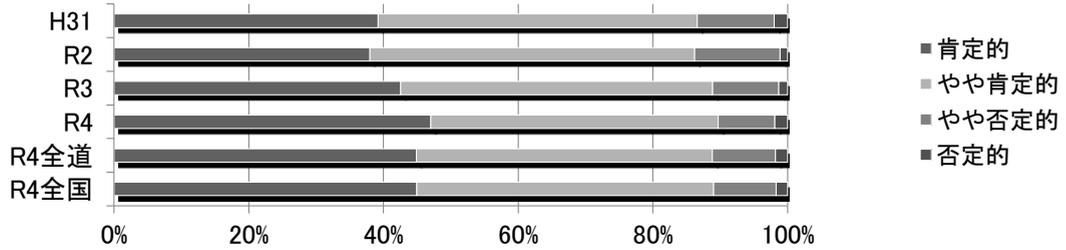
10 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。



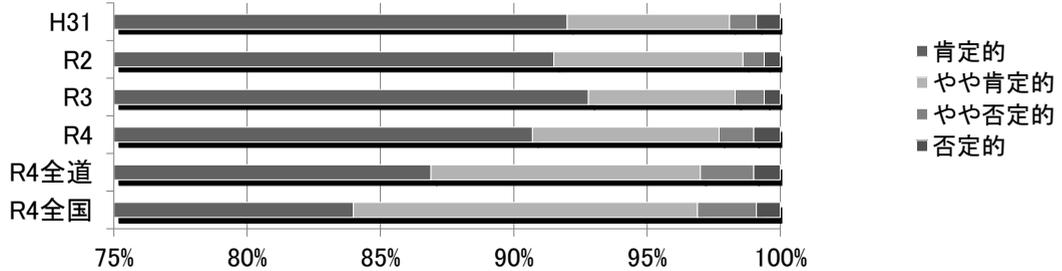
11 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



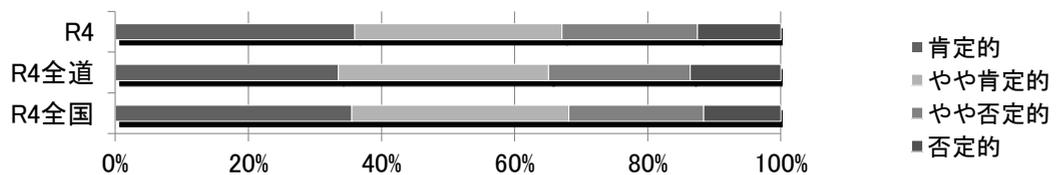
12 人が困っているときは、進んで助けている。



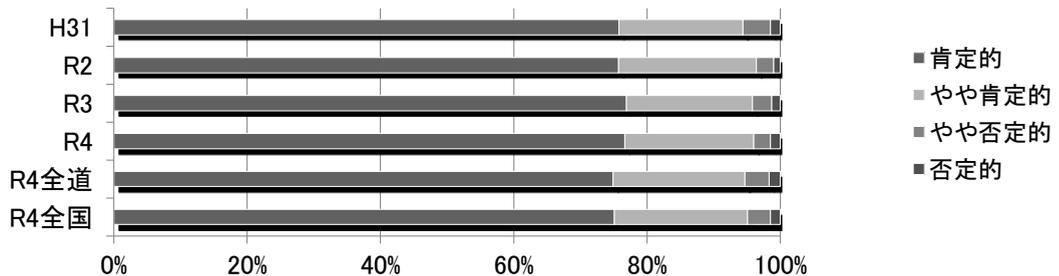
13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



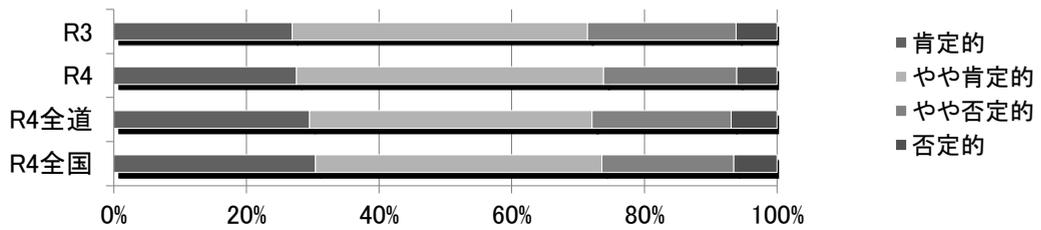
14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。(新設問)



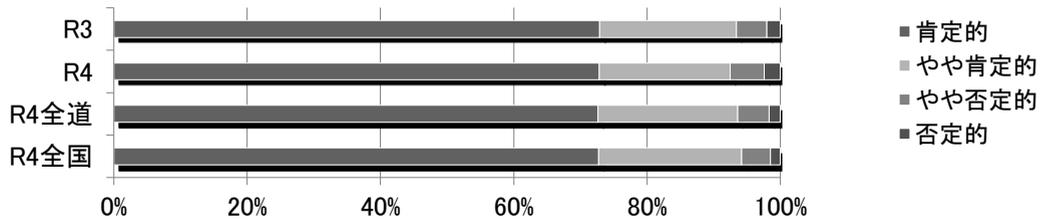
15 人の役に立つ人間になりたいと思う。



17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



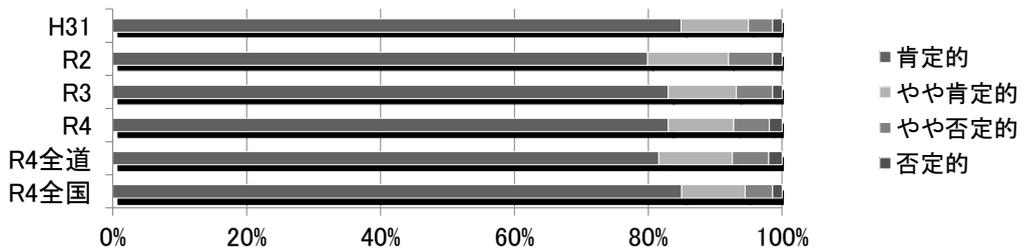
18 友達と協力するのは楽しいと思う。



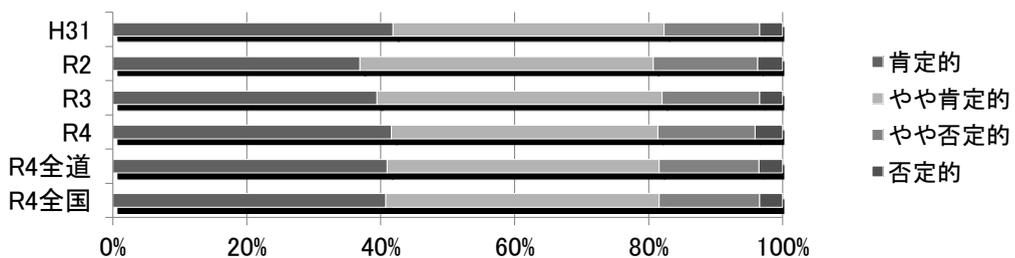
生活習慣・学習習慣

【考察】 学習時間が、「学年×10分+10分以上」（質問では1時間以上）であると回答している割合は、平日で67%、休日で64%と全国平均を大きく上回っている。一方で、「2時間以上テレビゲームを利用している」と回答した割合は約56%、「2時間以上SNSや動画視聴している」と回答した割合は約37%であり、全国平均を上回っている。メディアに接する時間を減らしてくことが課題と考えられる。

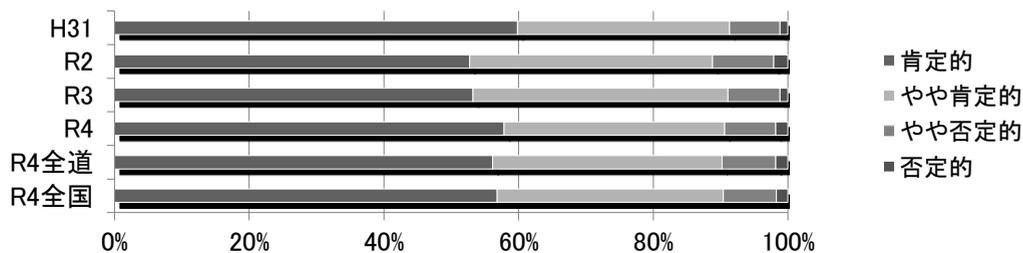
1 朝食を毎日食べている。



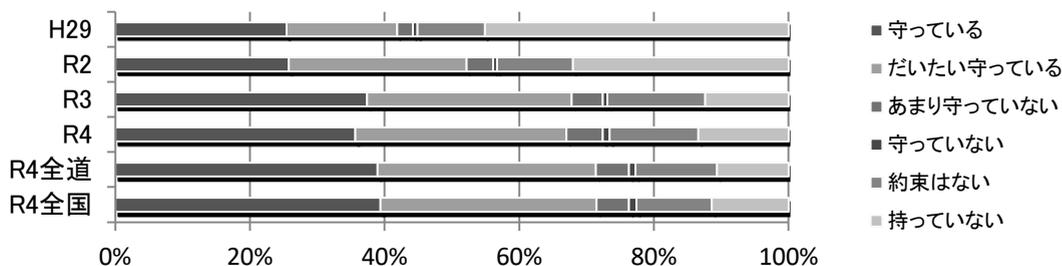
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



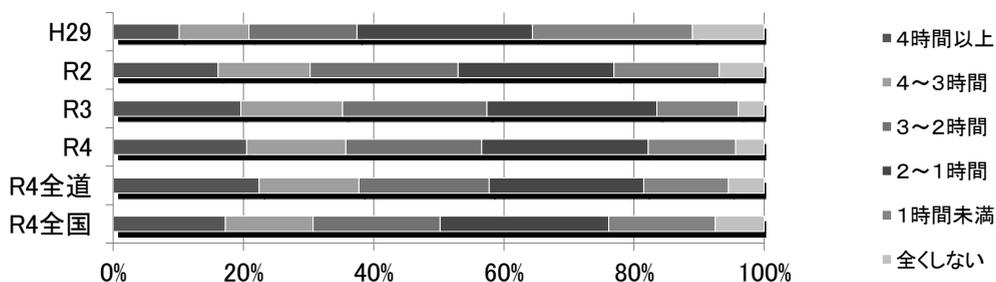
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



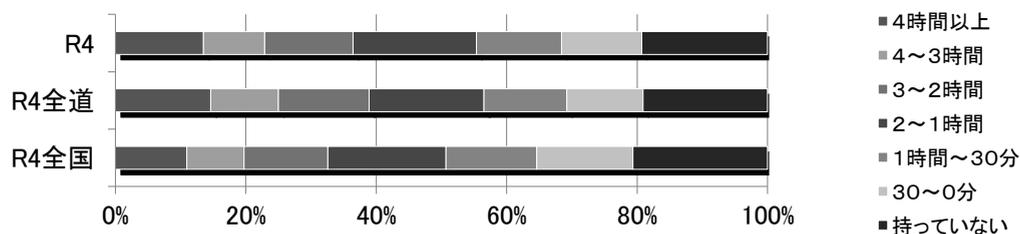
4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。



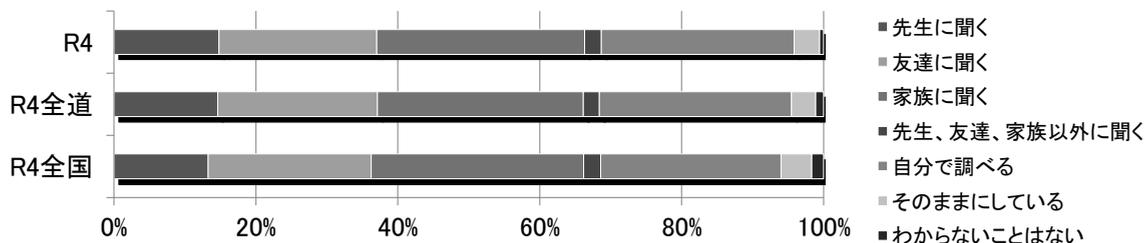
5 普段（月～金）、1日当たりのテレビゲームの利用時間。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）



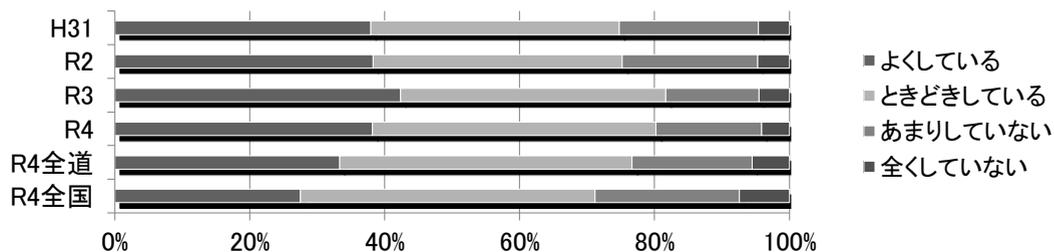
6 普段（月～金）、1日当たりのSNSや動画視聴の時間。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームの時間は含めない）（新設問）



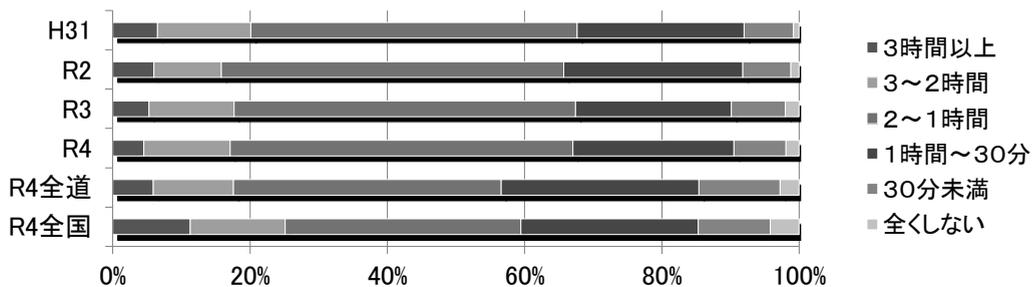
19 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしているか。（新設問）



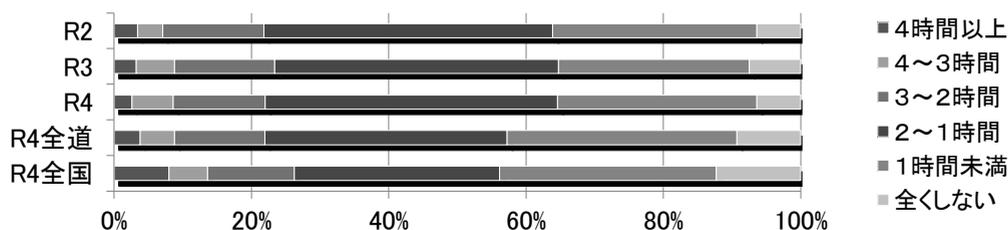
20 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)



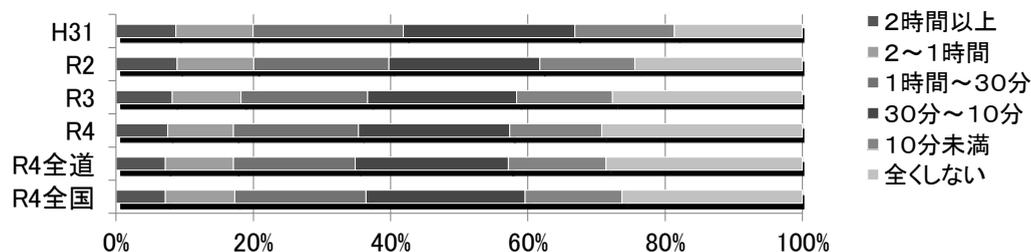
21 普段(月～金)、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



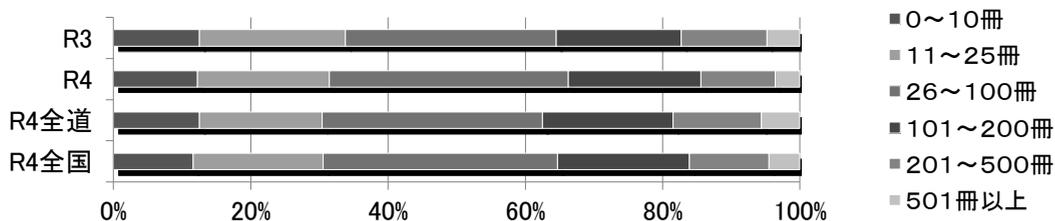
22 休み(土日等)の日の、1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



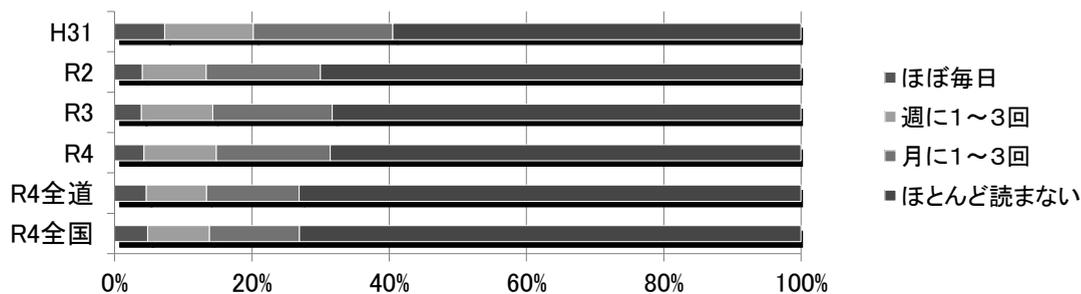
23 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



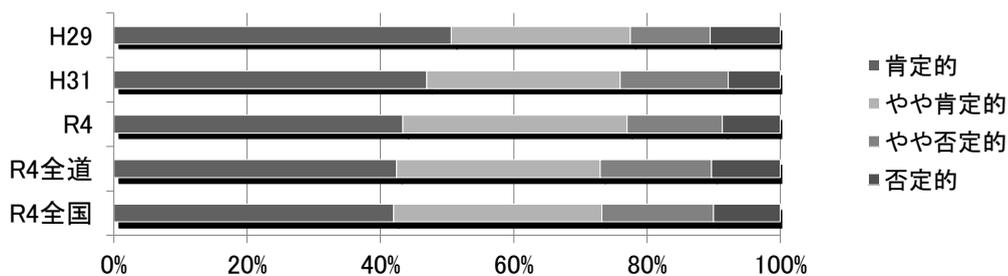
24 家にある本の冊数。(雑誌、新聞、教科書は除く)



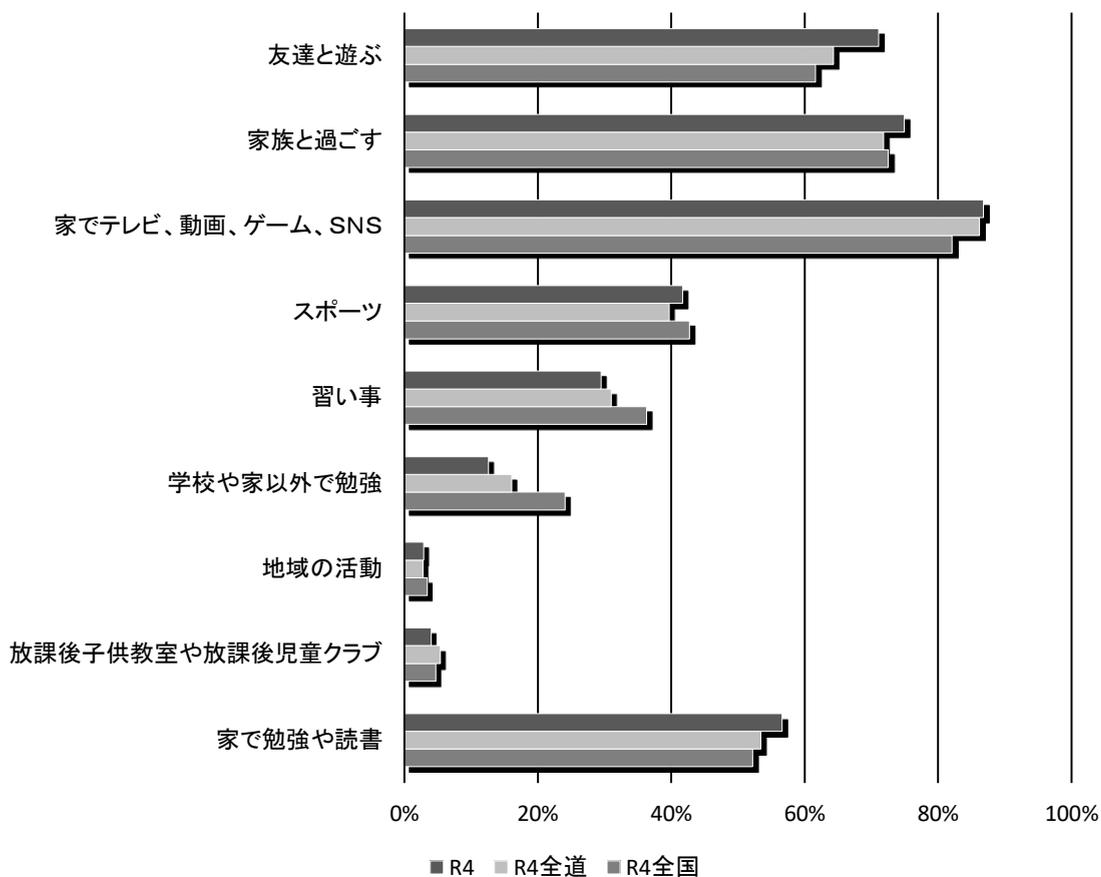
25 新聞を読んでいる。



26 読書は好きですか。



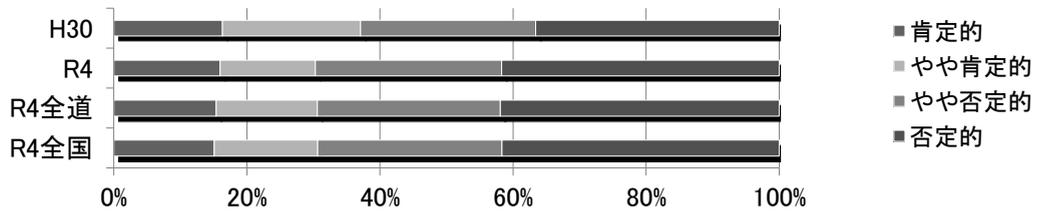
31 放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか。（新設問）



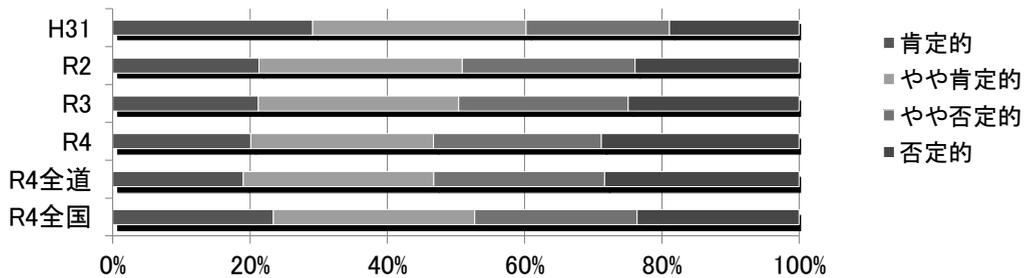
## 地域や社会への関心

【考察】 「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した割合が全国平均を下回っている。学校が中心となり、地域全体で子供を育てるという視点が大切である。多くの児童が地域や社会に関心をもち、参画していくために、児童と地域の人とのつながりを作り、交流を深めていくことが必要であるとうかがえる。

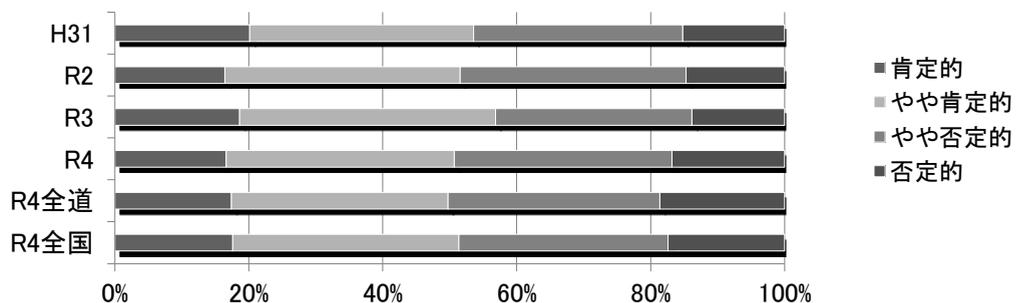
28 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。（習い事の先生は除く）



29 今住んでいる地域の行事に参加している。



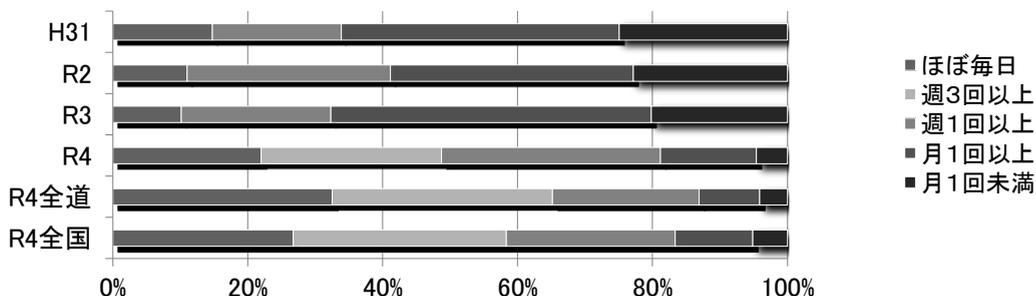
30 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。



## ICTの活用

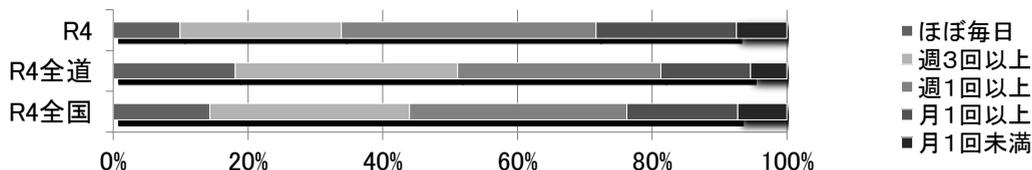
【考察】 「5年生までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を使用した割合。」では、週1回以上と回答した割合は約80%で前年度を大きく上回っているが、週3回以上と回答した割合は全国平均を下回っている。「ICT機器を、学級の友達と意見交換するために使用している。」では、全国平均を大きく下回る結果となったことから、ネットワーク接続の問題も要因として考えられるが、学習用端末の活用によって、個別最適な学びや協働的な学びにつながるような授業改善が必要であるとうかがえる。

32 5年生までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を使用した割合。

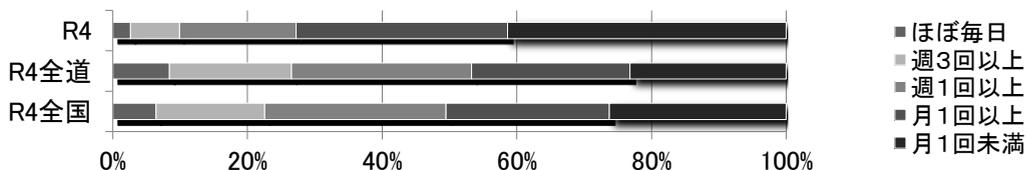


※H31～R3については、ほぼ毎日、週1回以上、月1回以上、月1回未満の4項目

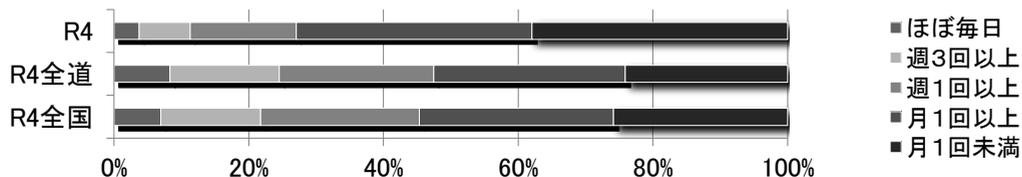
33 学校で、PC・タブレットなどのICT機器を、自分で調べるために使用している割合。（新設問）



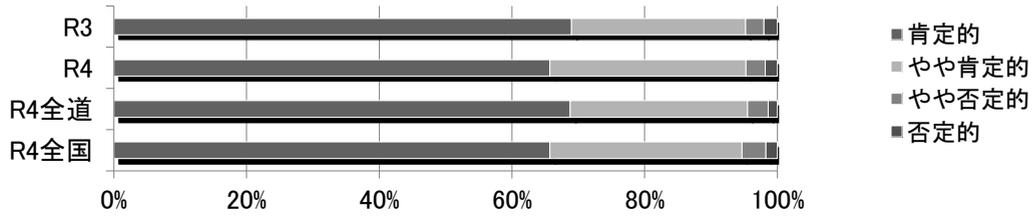
34 学校で、PC・タブレットなどのICT機器を、学級の友達と意見交換するために使用している割合。（新設問）



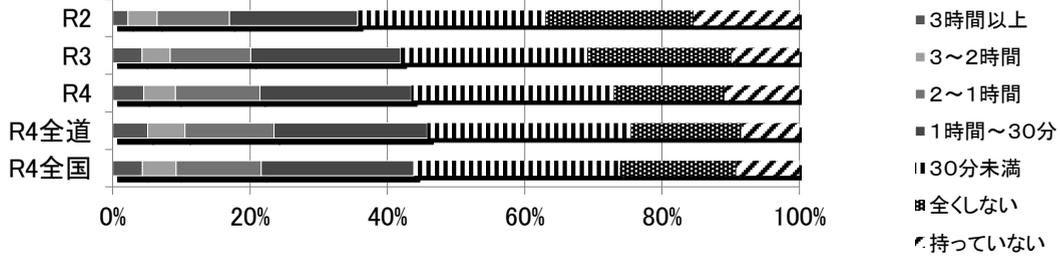
35 学校で、PC・タブレットなどのICT機器を、自分の考えをまとめ、発表するために使用している割合。（新設問）



36 学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つ。



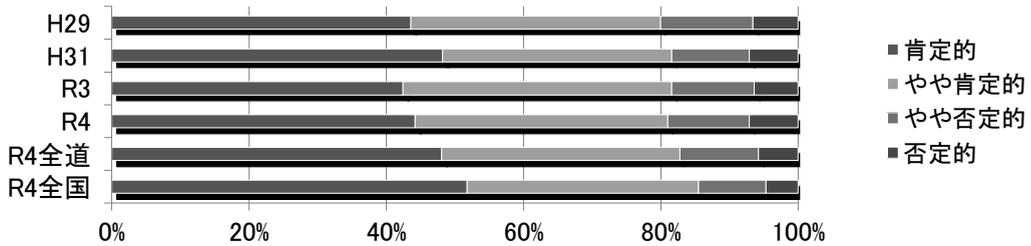
37 普段（月～金）、1日にスマホやコンピュータ等のI C T機器を勉強のために使用する時間。



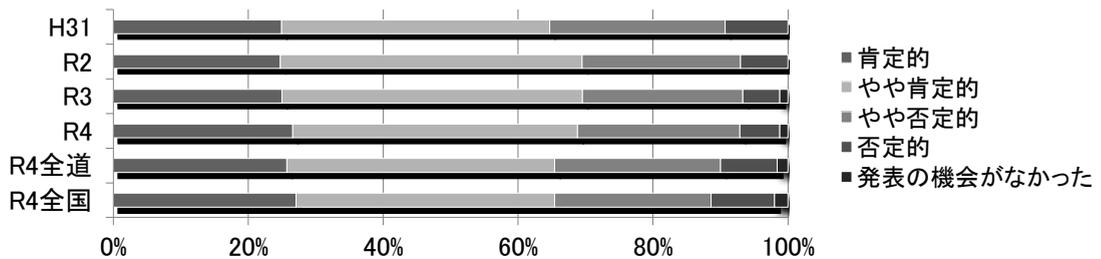
学校生活

【考察】 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」と回答した割合が全国平均を大きく上回っていることから、道徳科において、「考え、議論する道徳」の実践ができています。  
 「学校へ行くのは楽しい。」と回答した割合が約80%であり、全校平均を下回っている。一人一人に目を向けて、それぞれにとっての居場所がある学級づくりが必要であるとうかがえる。

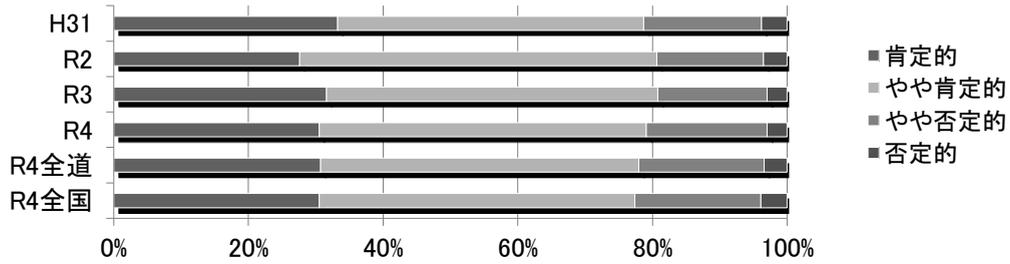
16 学校に行くのは楽しい。



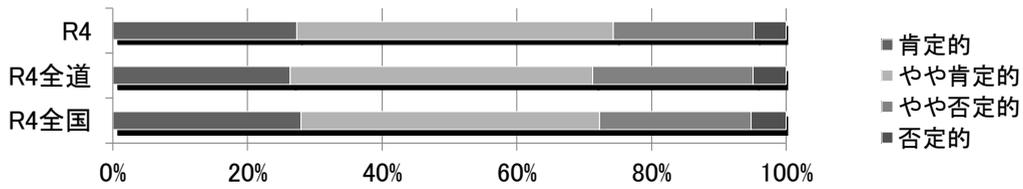
38 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



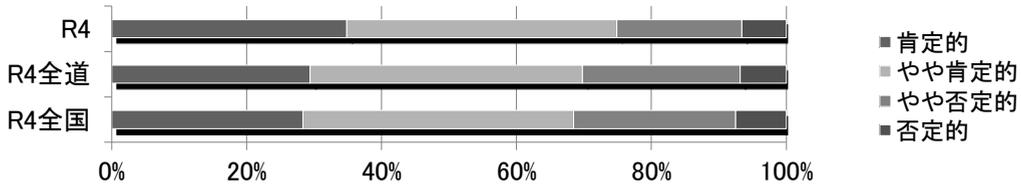
39 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



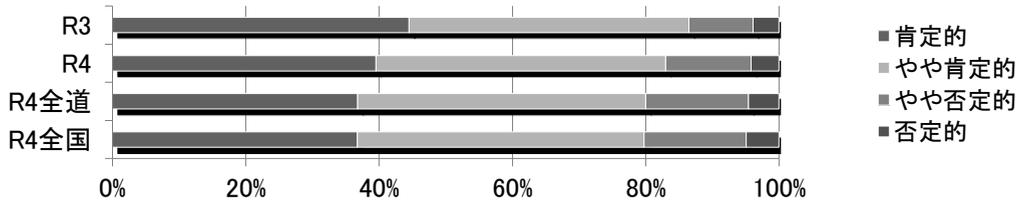
40 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。（新設問）



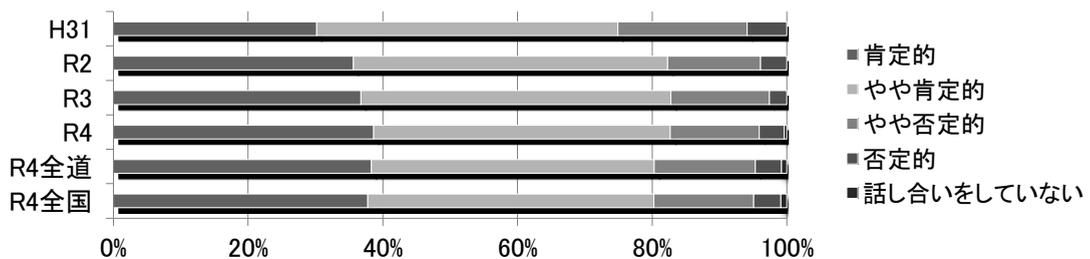
41 5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていた。（新設問）



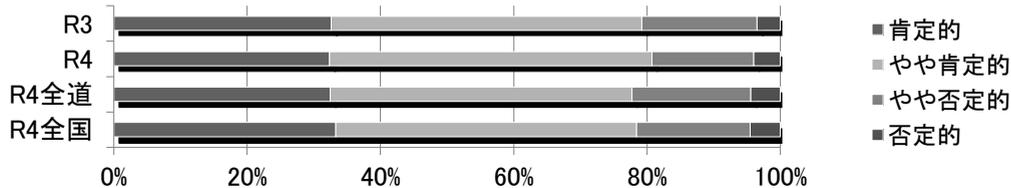
42 5年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。



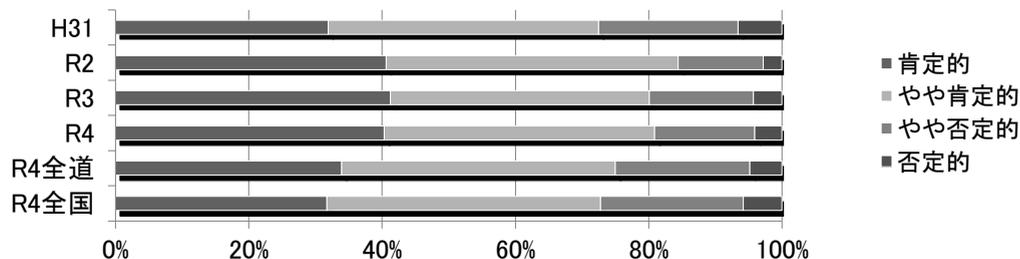
43 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



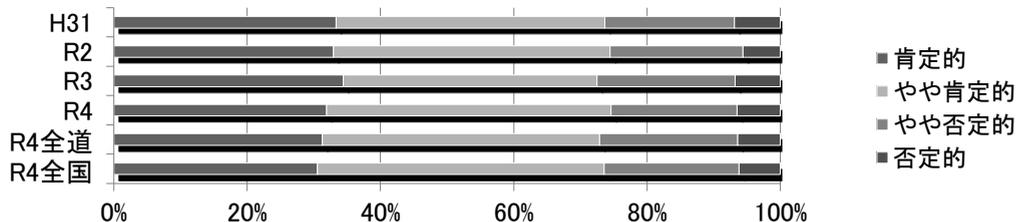
44 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。



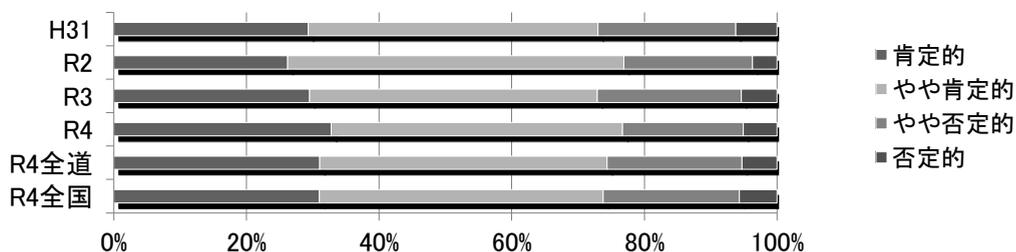
45 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



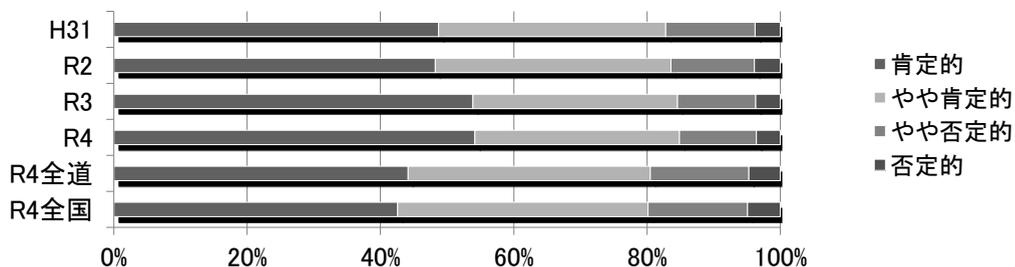
46 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。



47 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

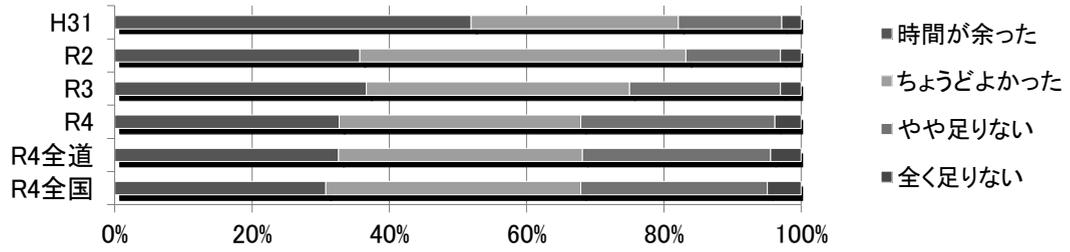


48 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

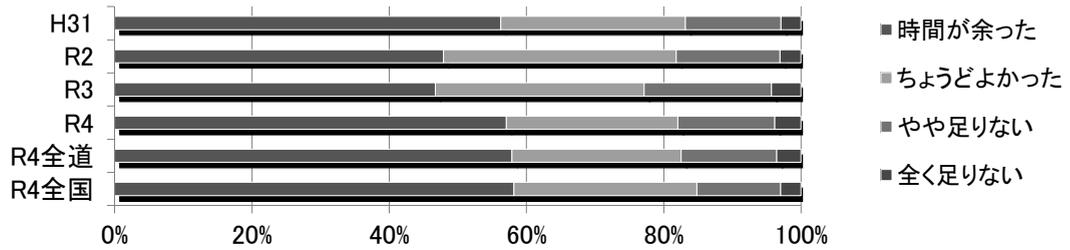


## 調査問題の解答時間

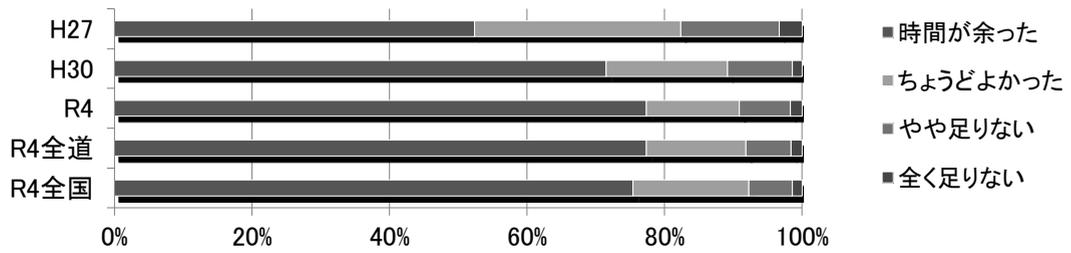
国(2) 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



算(2) 調査問題（算数）の解答時間は十分だった。



理(2) 調査問題（理科）の解答時間は十分だった。



# 令和4年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学3年生徒）調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

## 中学3年生徒

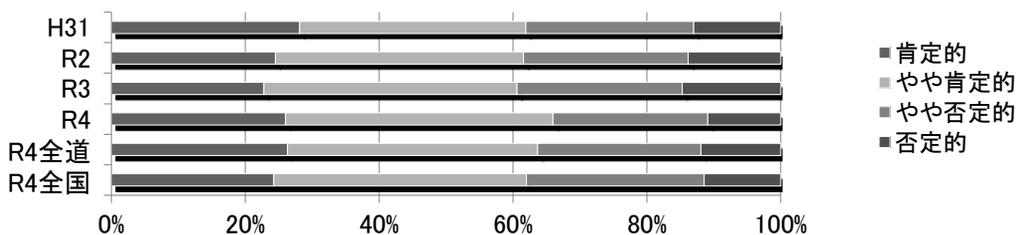
・令和2年度は参考値です。

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

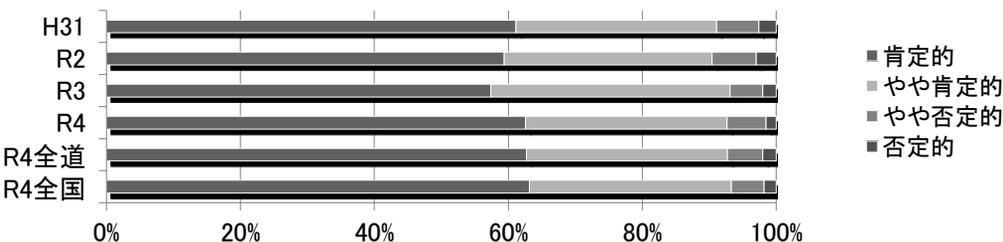
### 学習に対する興味・関心等 (国語)

【考察】 どの設問においても、全国と同等の結果であるといえる。約85%の生徒が「国語の授業の内容はよく分かる。」と回答していることから、日常の授業において、分かりやすい授業が行われていることがうかがえる。

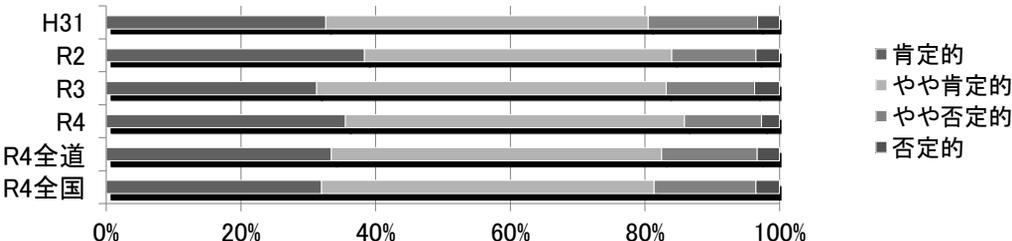
49 国語の勉強は好き。



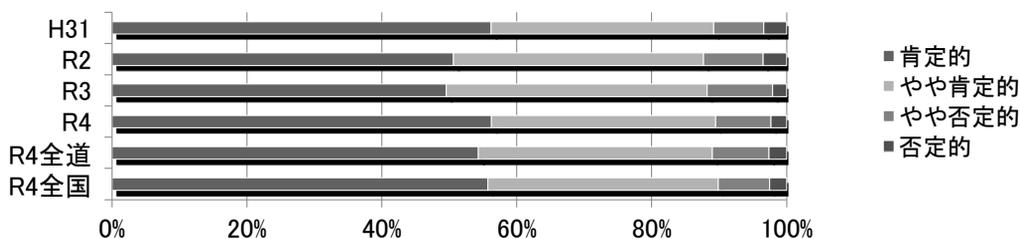
50 国語の勉強は大切だと思う。



51 国語の授業の内容はよく分かる。

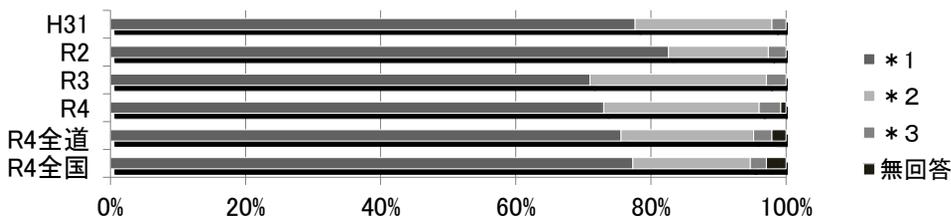


52 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



国(1) 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

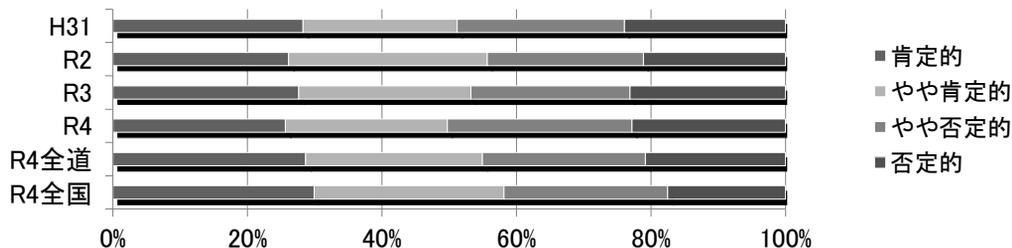
- \* 1：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 2：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった。
- \* 3：書く問題は全く解答しなかった。



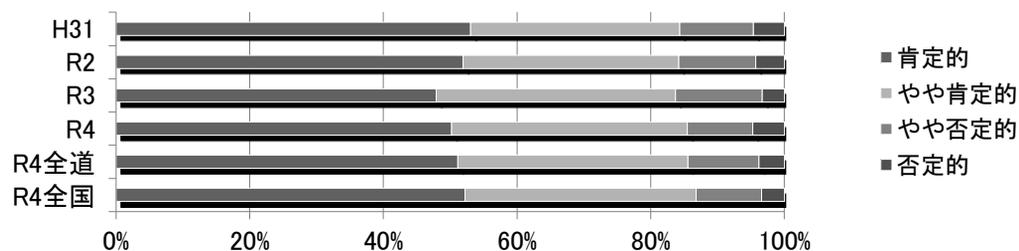
## 学習に対する興味・関心等 (数学)

【考察】「数学の授業の内容はよく分かる。」と回答した割合が全国平均を下回っている。日常の授業で、内容を焦点化させ、学習内容を確実に理解させる必要があるとかがえる。さらに、「数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える。」と回答した割合が全国平均を下回っていることから、生徒の学びの姿をイメージし、支援が必要な生徒に対する具体的な手立てを考えて授業を行う必要があるとかがえる。

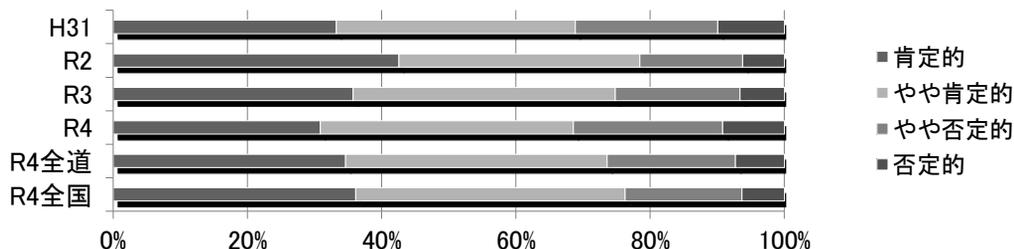
53 数学の勉強は好き。



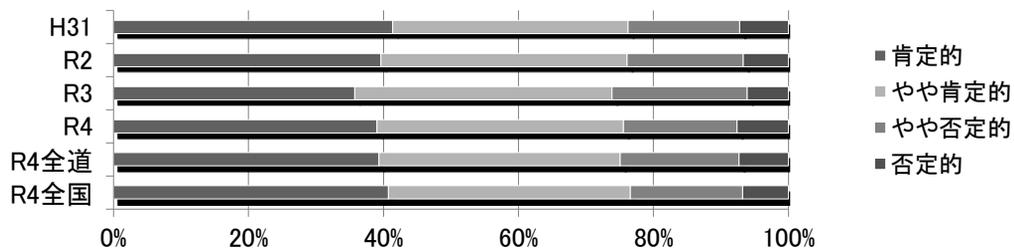
54 数学の勉強は大切だと思う。



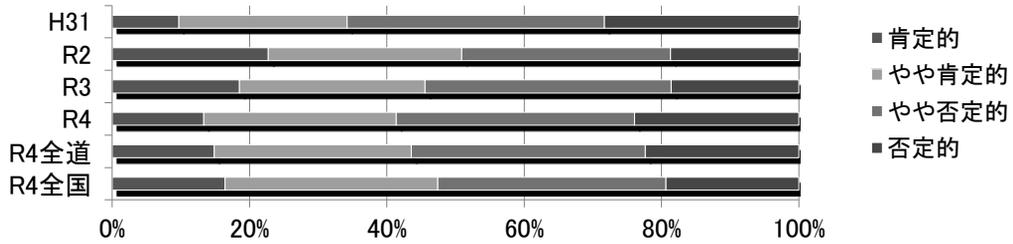
55 数学の授業の内容はよく分かる。



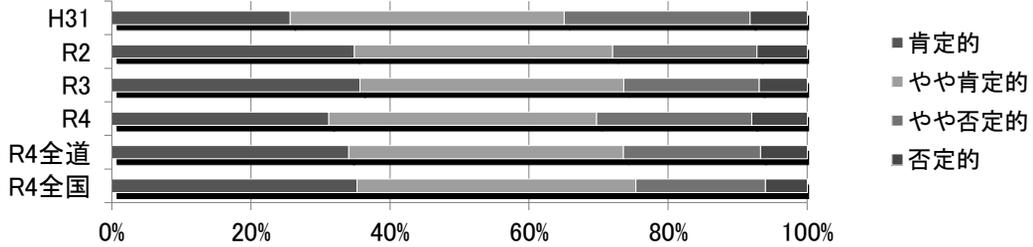
56 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



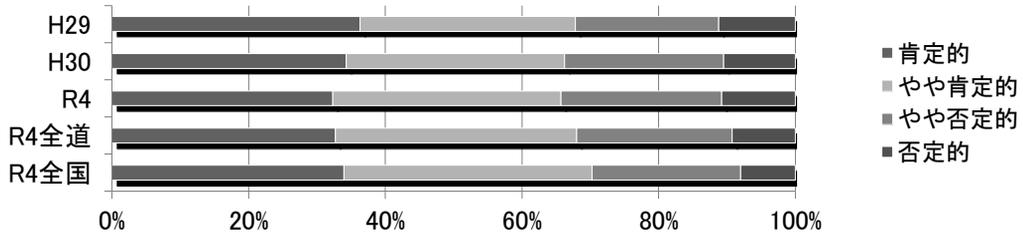
57 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



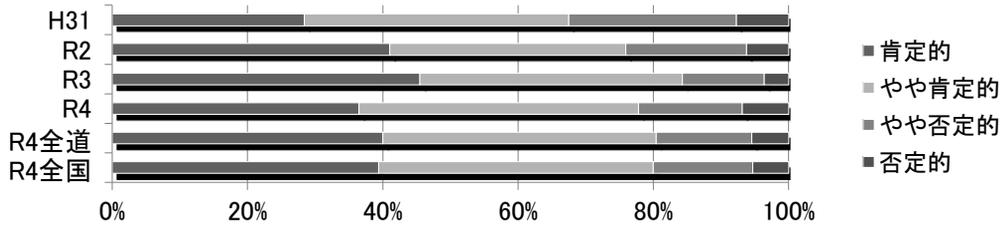
58 数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える。



59 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。

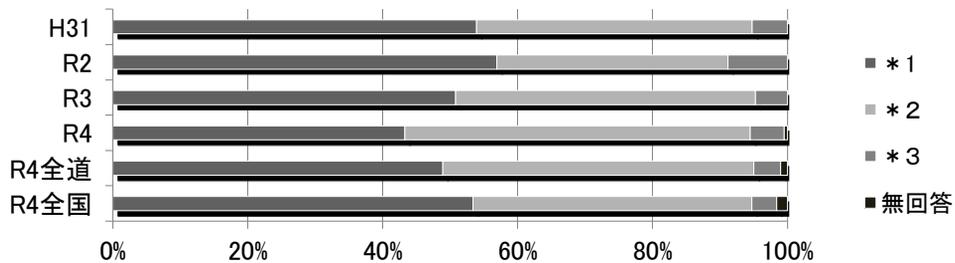


60 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。



数(1) 今回の数学の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

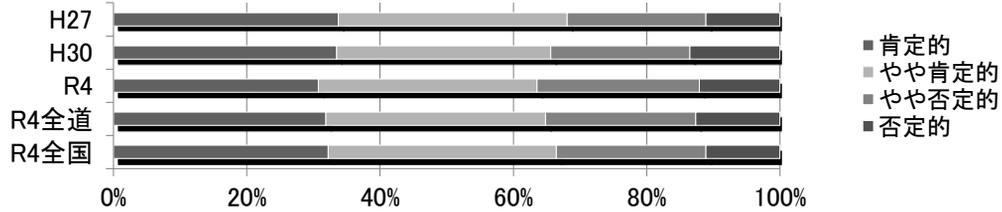
- \* 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- \* 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



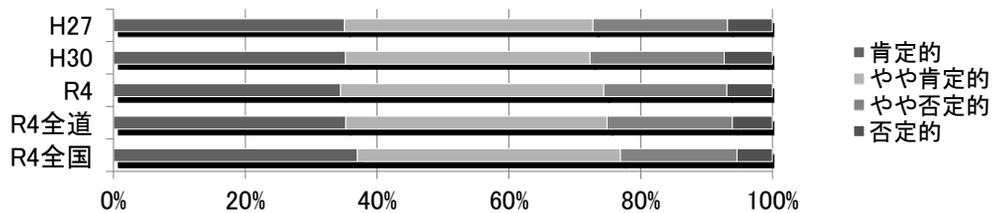
学習に対する興味・関心等  
(理科)

【考察】 「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。」及び「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している。」において、肯定的に回答した割合が全国平均を下回っている。日常の授業において、予想や仮説の設定、実験、考察、振り返りを行い、科学的に探究する力を養う必要があるとかがえる。

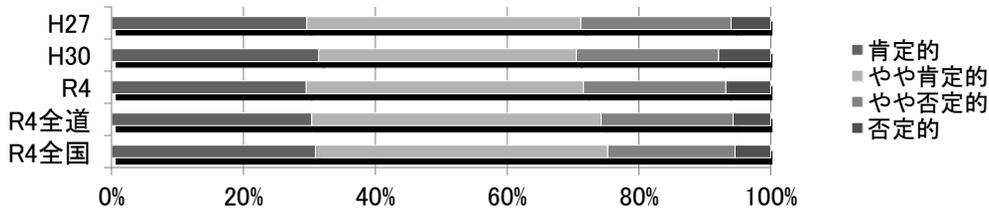
61 理科の勉強は好き。



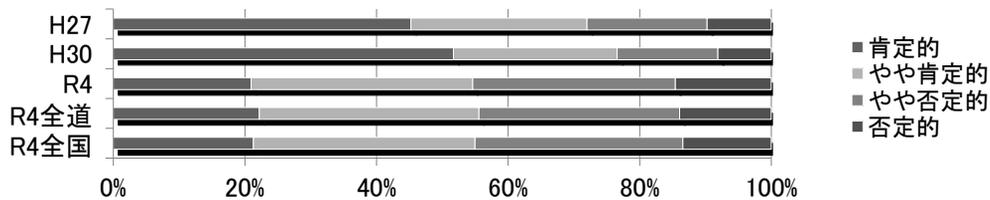
62 理科の勉強は大切だと思う。



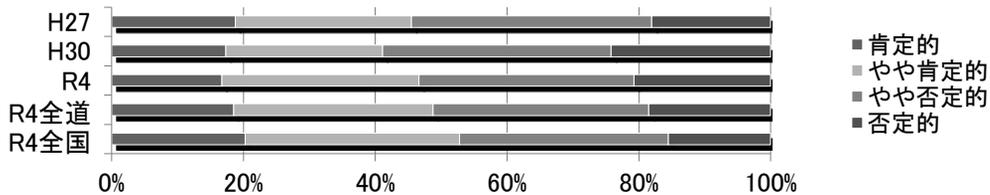
63 理科の授業の内容はよく分かる。



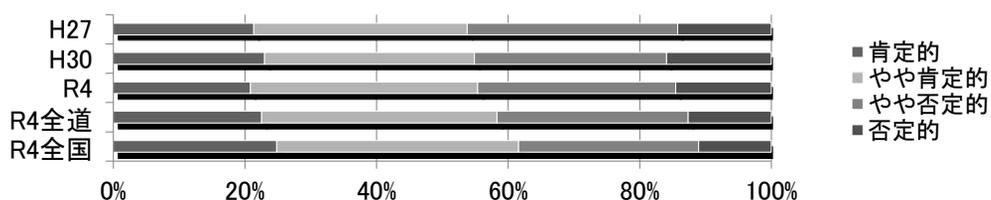
27 自然の中で遊んだことや自然観察をすることがある。



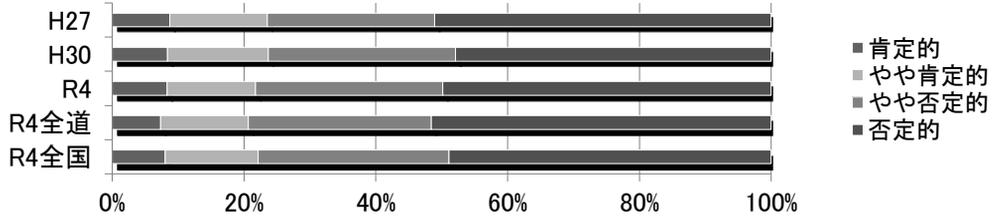
64 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



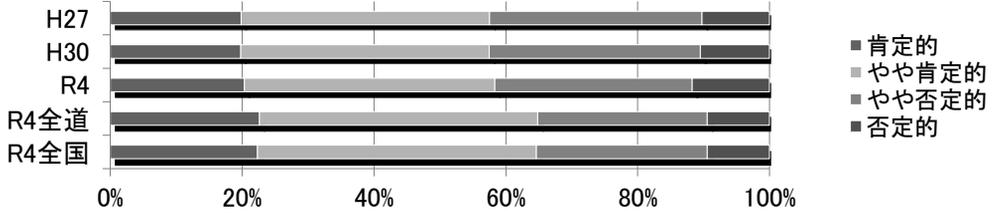
65 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



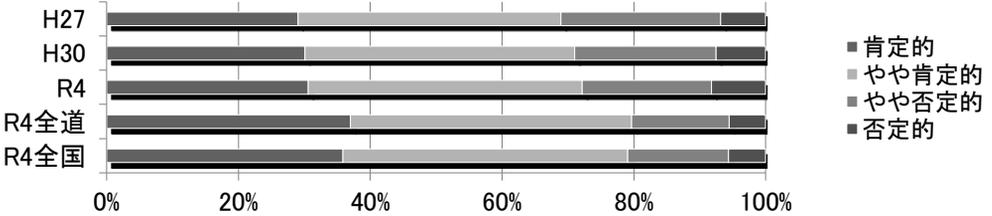
66 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。



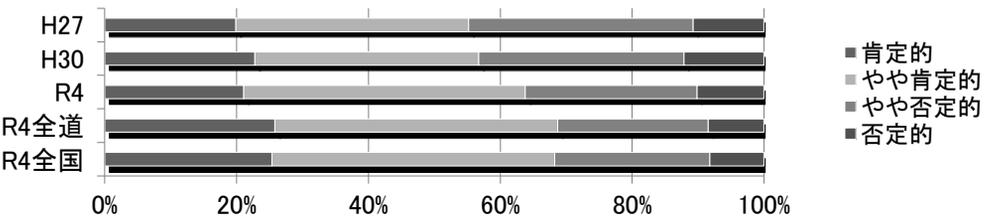
67 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。



68 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している。

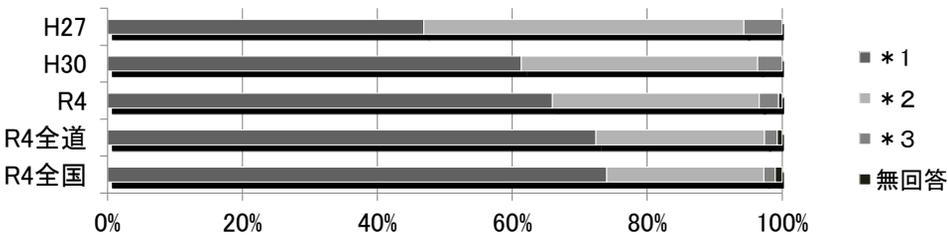


69 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。



理(1) 今回の理科の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

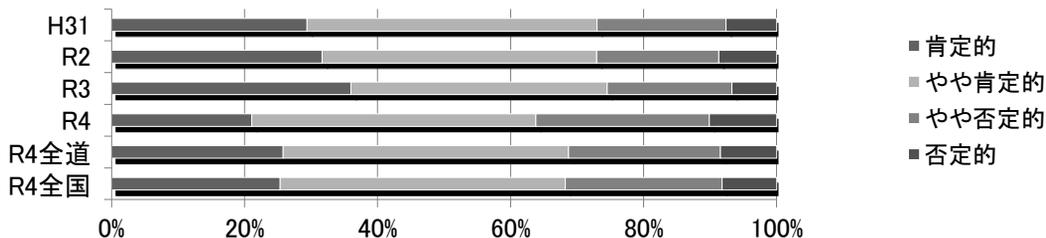
- \* 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった。
- \* 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



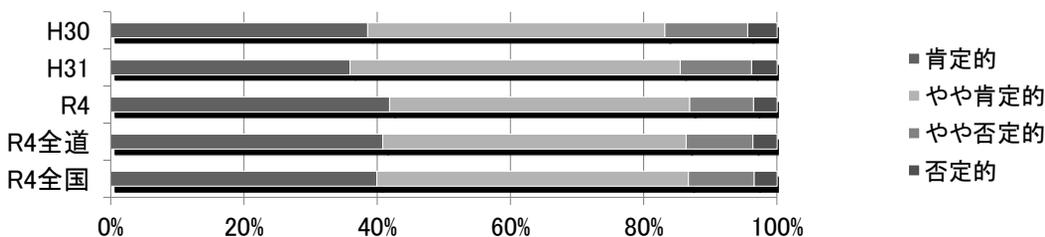
**規範意識・自己有用感**

【考察】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」と回答した割合が全国平均を大きく上回っている。各学校におけるいじめ等の問題に対する取組の成果がみられるが、肯定的な回答が100%になるよう取組を継続する必要がある。一方で、「自分には、よいところがあると思う。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を下回っている。自分に自信を持てるような取組を意図的、計画的に行っていく必要があるとかがえる。

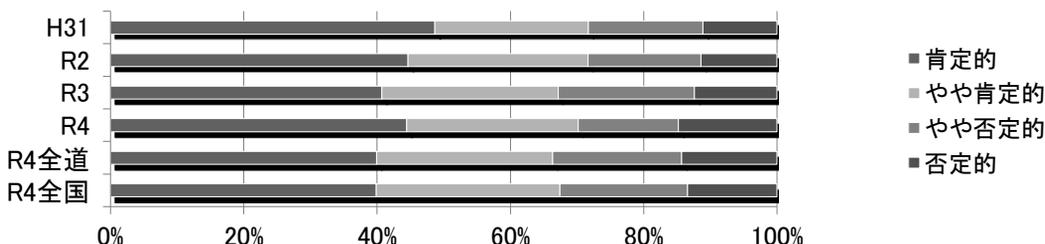
7 自分には、よいところがあると思う。



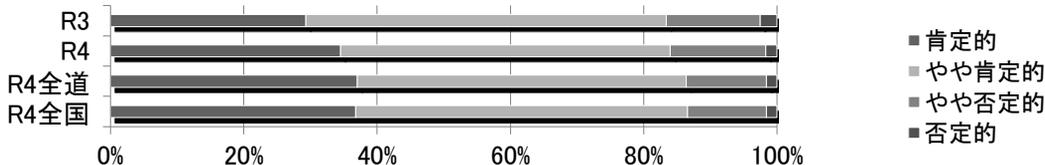
8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



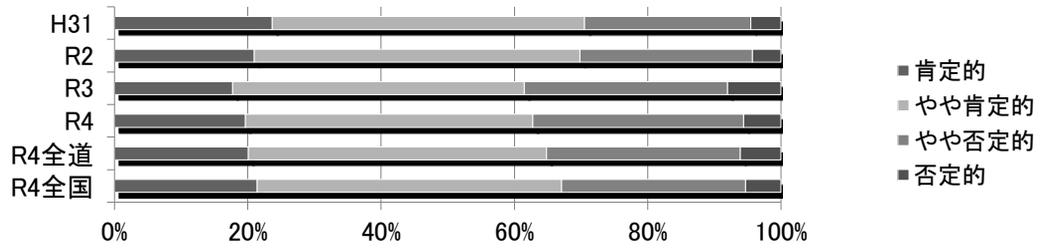
9 将来の夢や目標を持っている。



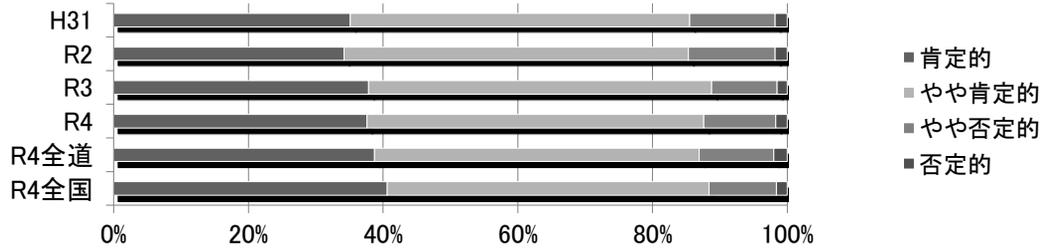
10 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。



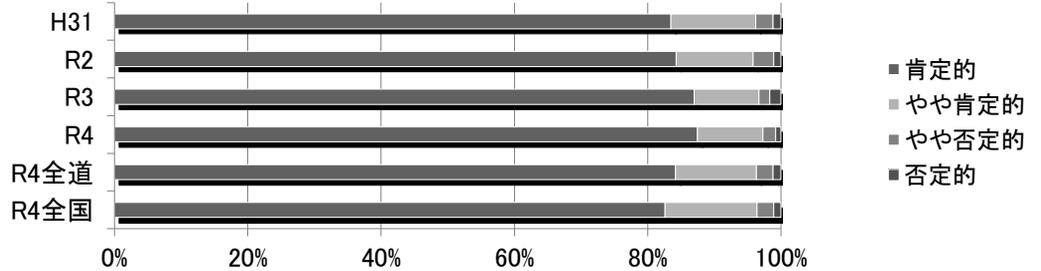
11 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



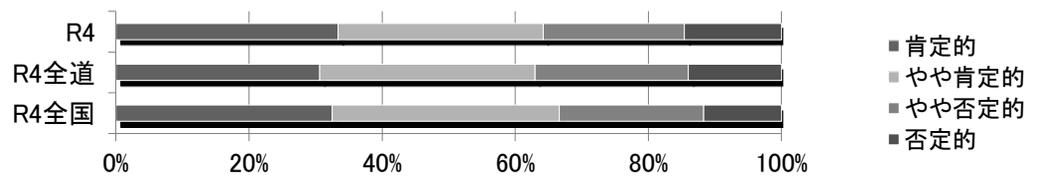
12 人が困っているときは、進んで助けている。



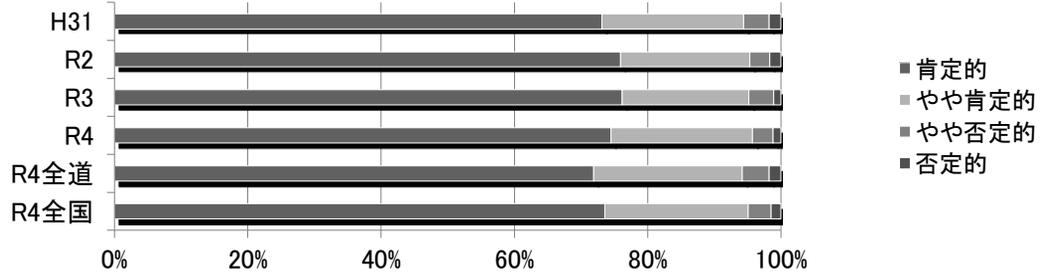
13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



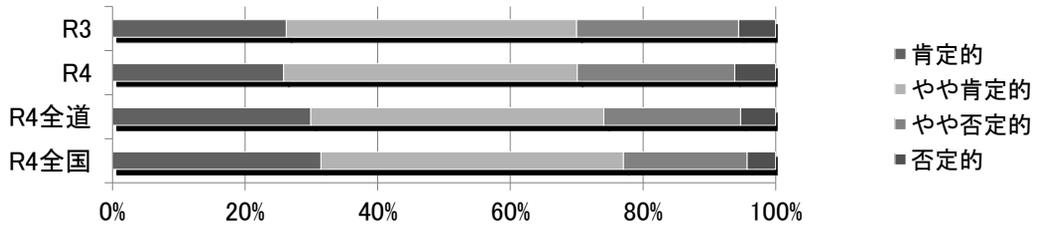
14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。(新設問)



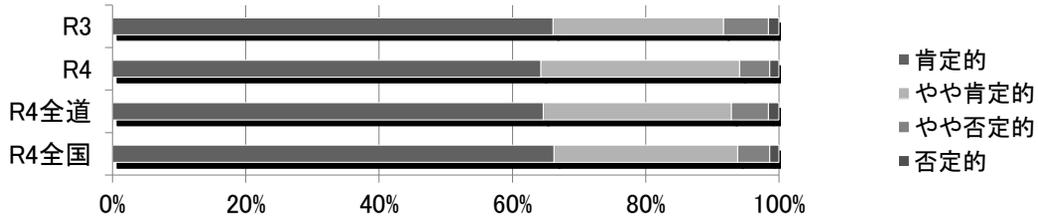
15 人の役に立つ人間になりたいと思う。



17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



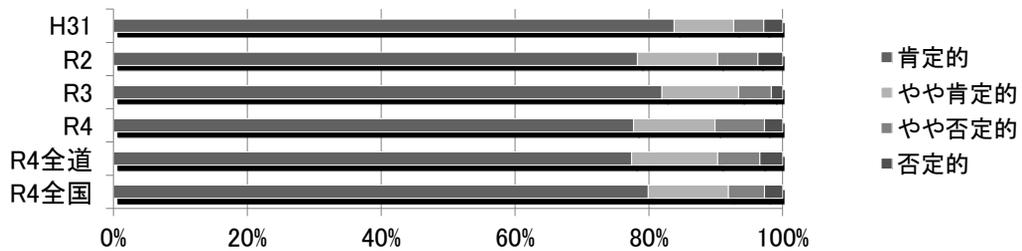
18 友達と協力するのは楽しいと思う。



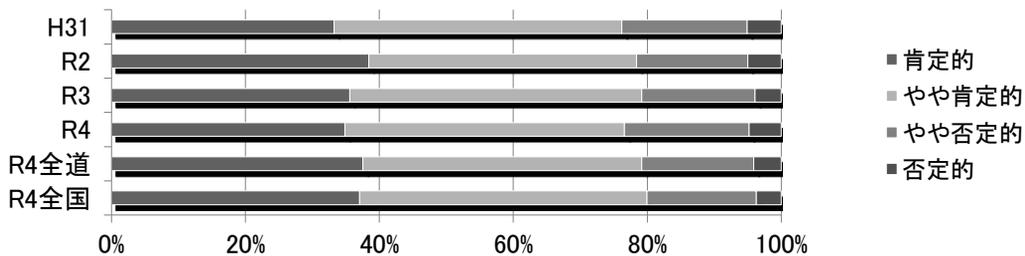
**生活習慣・学習習慣**

【考察】 「普段、2時間以上SNSや動画視聴している。」と回答した割合が約60%あり、小学6年生と比較して約23%上回っている。また、全国平均と比較しても上回っている。さらに、「一日の学習時間。」では、2時間以上学習していると回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。これらのことから、メディアに触れる時間を減らし、学習時間を増やすことが必要であるとうかがえる。

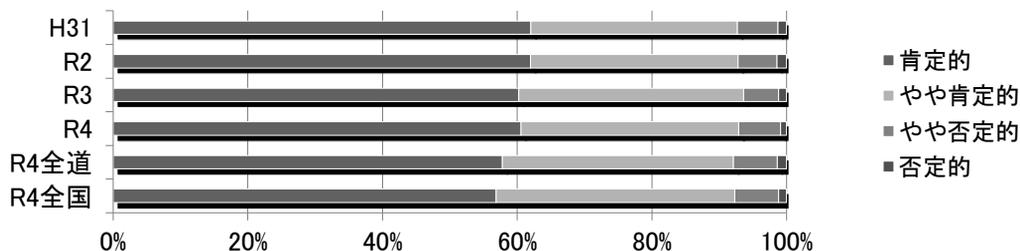
1 朝食を毎日食べている。



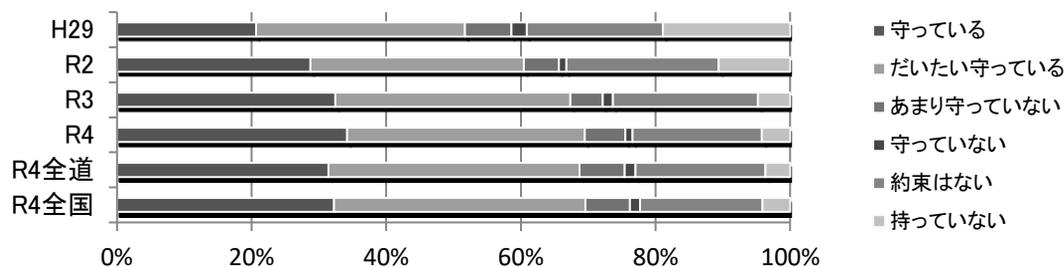
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



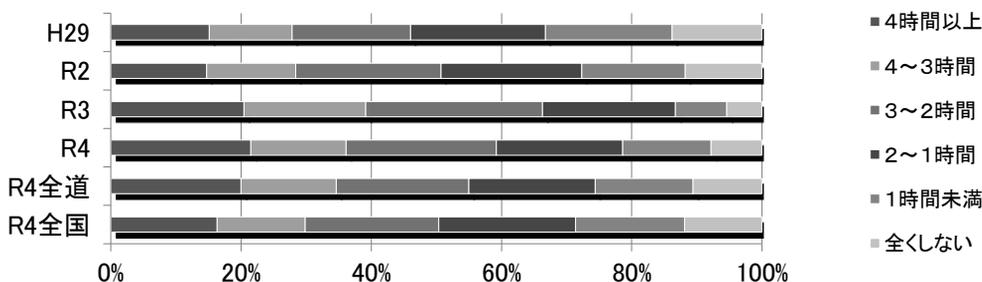
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



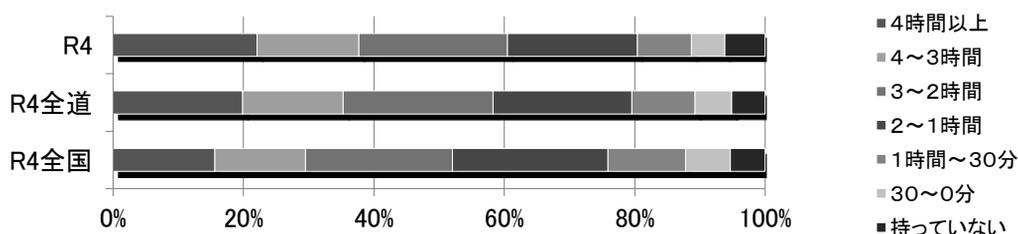
4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。



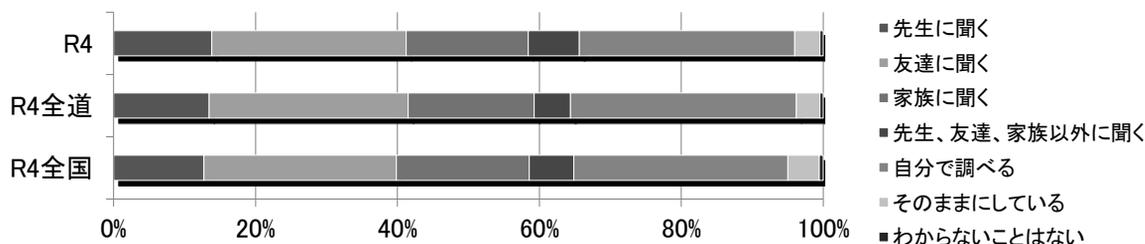
5 普段（月～金）、1日当たりのテレビゲームの利用時間。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）



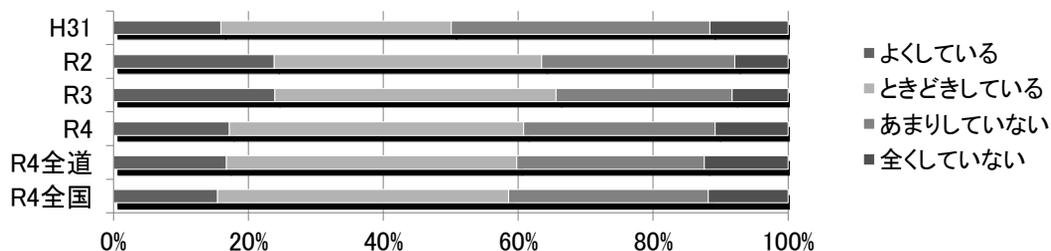
6 普段（月～金）、1日当たりのSNSや動画視聴の時間。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームの時間は含めない）（新設問）



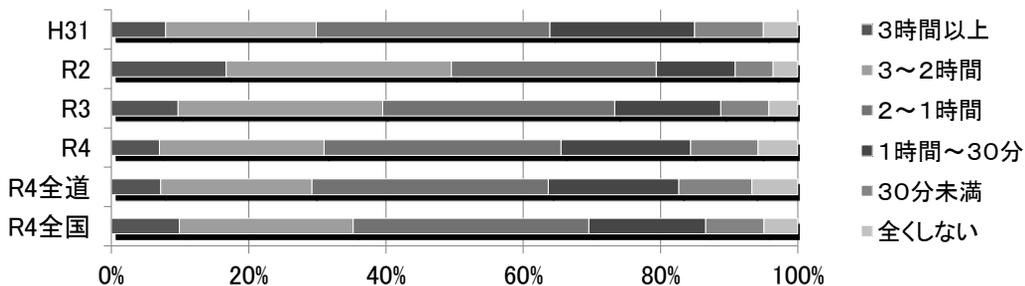
19 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしているか。（新設問）



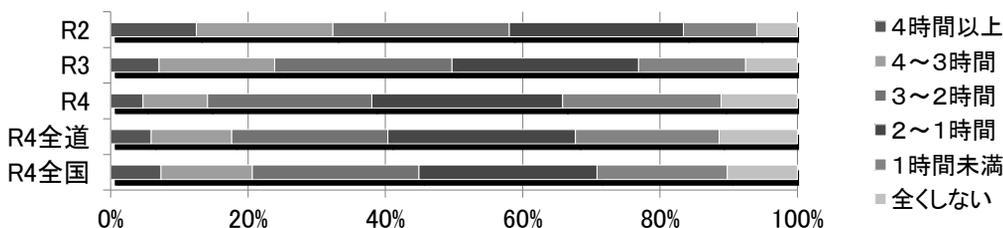
20 家で自分で計画を立てて勉強をしている。（学校の授業の予習や復習を含む）



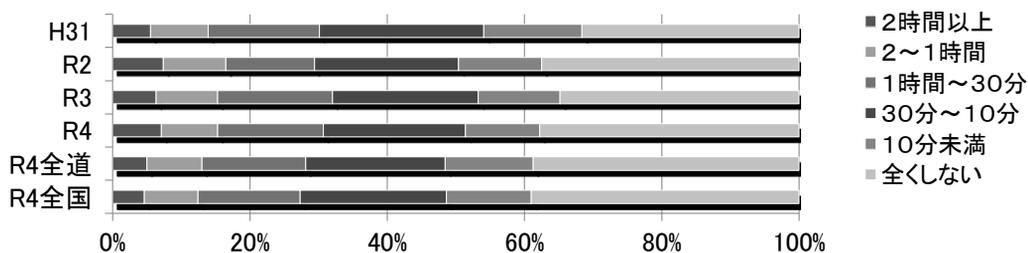
21 普段(月～金)、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



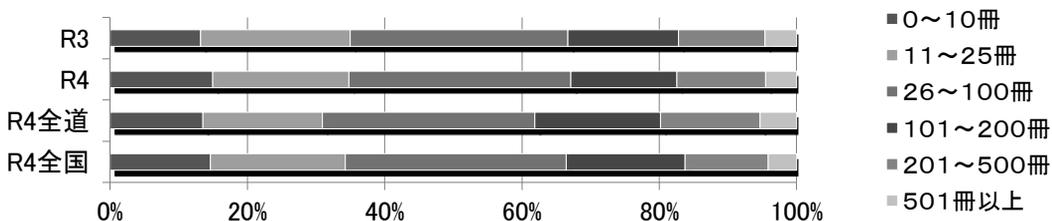
22 休み(土日等)の日の、1日当たりの学習時間。（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



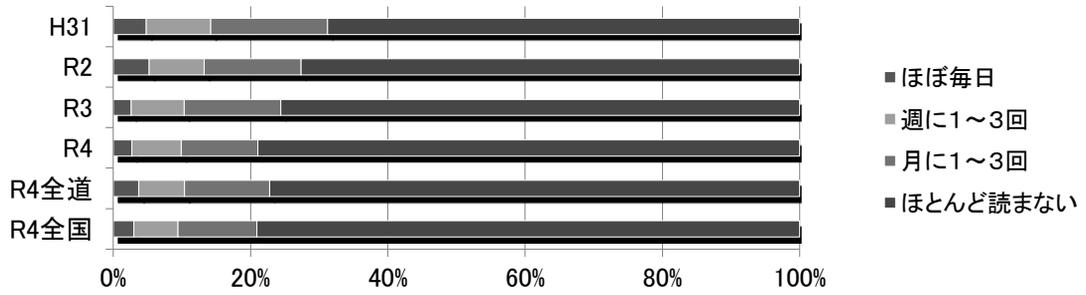
23 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



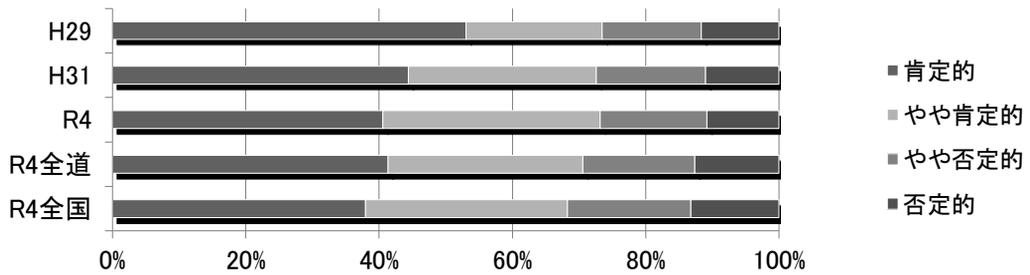
24 家にある本の冊数。（雑誌、新聞、教科書は除く）



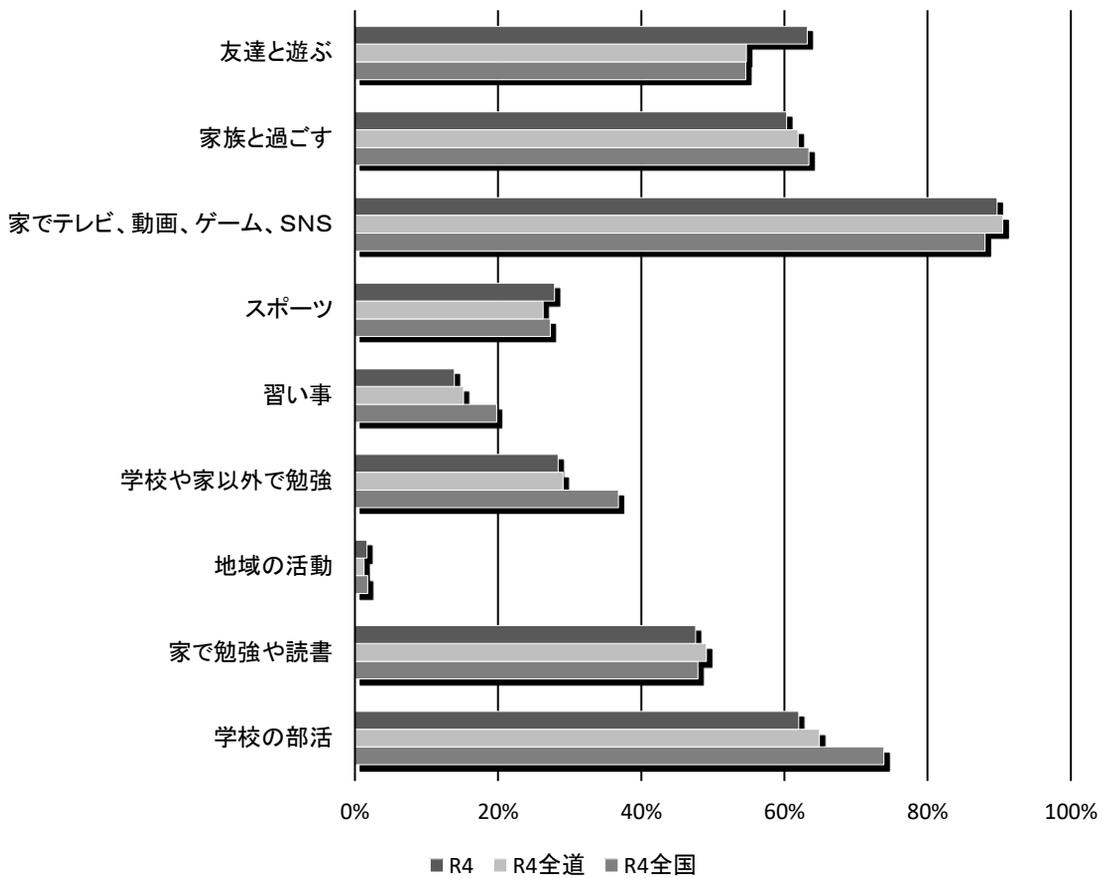
25 新聞を読んでいる。



26 読書は好きですか。



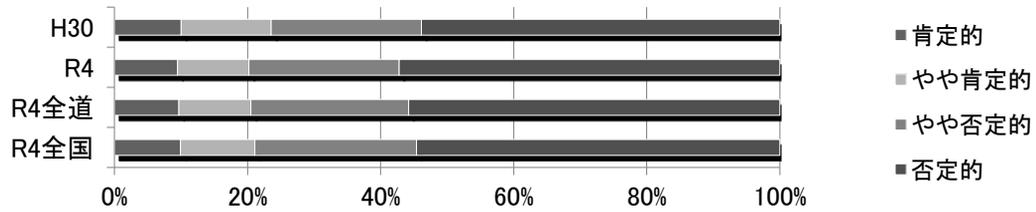
31 放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか。（新設問）



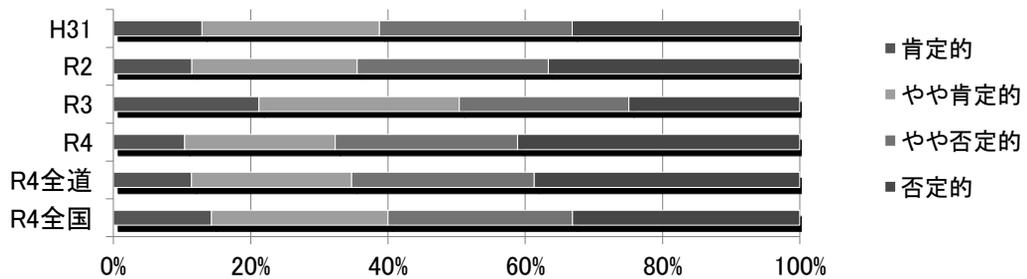
## 地域や社会への関心

【考察】「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した割合が、小学6年生と比較すると約14%下回っている。学年が上がるとともに地域の行事に参加する割合が減ることは全国を見ても同じだが、全国平均よりも約8%下回っていることから、多くの生徒が地域や社会に関心を持ち参画していくために、学校が中心となって、より積極的に地域の人とつながっていくことが必要であるとうかがえる。

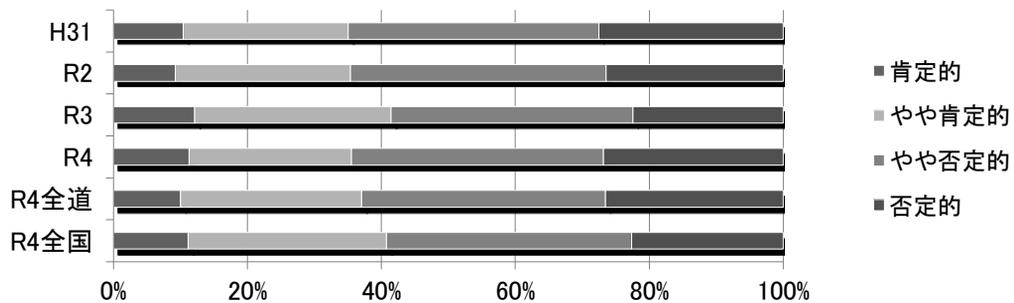
28 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。（習い事の先生は除く）



29 今住んでいる地域の行事に参加している。



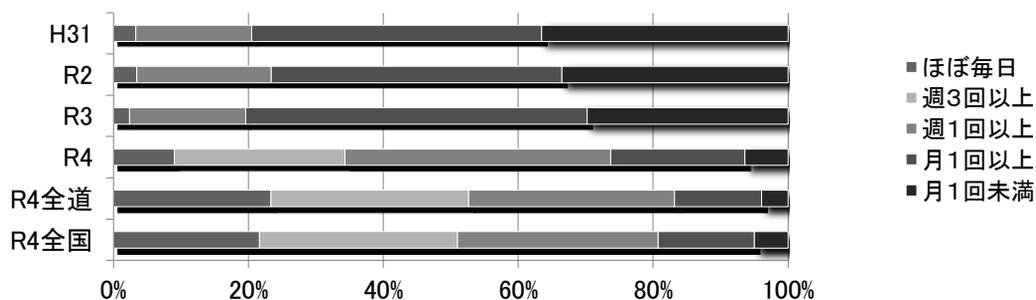
30 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。



## ICTの活用

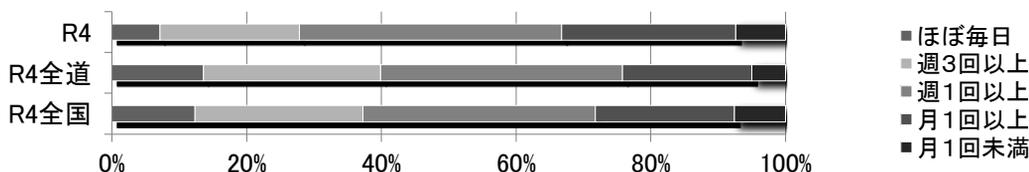
【考察】 ICT機器の活用の状況について、全国と大きな差がある。「ICT機器を、学級の友達と意見交換するために使用している。」では、肯定的に回答している割合が全国平均を大きく下回っている。学習用端末のネットワークの問題なども要因として考えられるが、ICT機器の効果的な活用に関する研修や情報提供を行い、個別最適な学びや協働的な学びを実現できるようにする必要があるとかがえる。

32 1, 2年生までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を使用した割合。

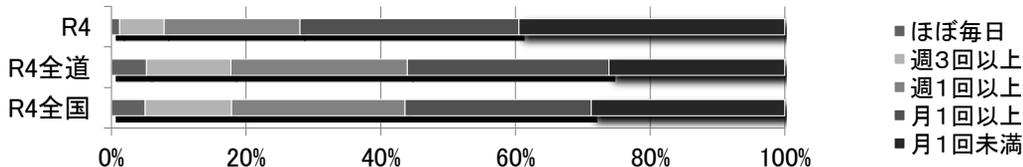


※H31～R3については、ほぼ毎日、週1回以上、月1回以上、月1回未満の4項目

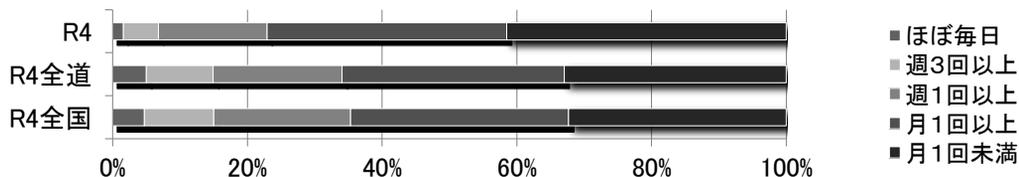
33 学校で、PC・タブレットなどのICT機器を、自分で調べるために使用している割合。(新設問)



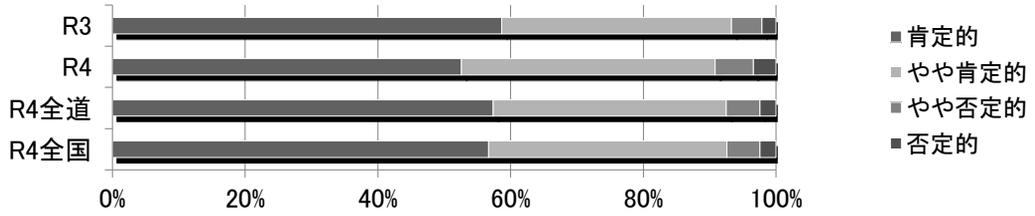
34 学校で、PC・タブレットなどのICT機器を、学級の友達と意見交換するために使用している割合。(新設問)



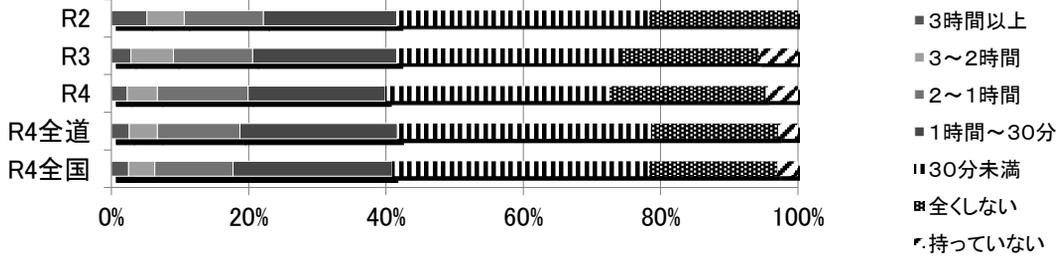
35 学校で、PC・タブレットなどのICT機器を、自分の考えをまとめ、発表するために使用している割合。(新設問)



36 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ。



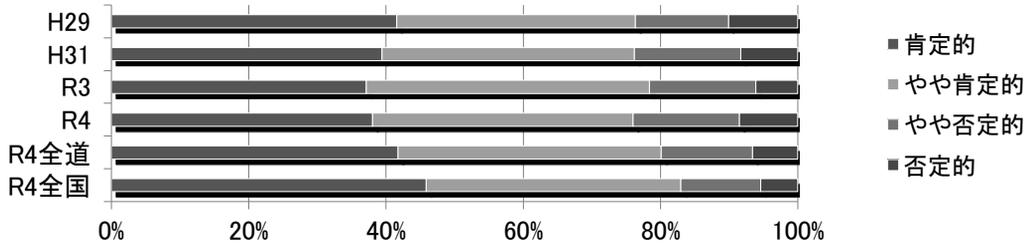
37 普段（月～金）、1日にスマホやコンピュータ等のICT機器を勉強のために使用する時間。



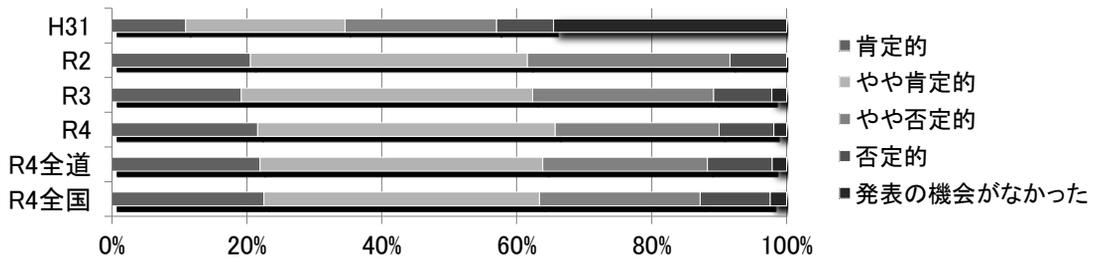
学校生活

【考察】 「学校に行くのは楽しい。」について、肯定的に回答した割合が全国平均を下回っている。このことから、一人一人に目を向け、より多くの生徒にとって楽しい学校であるために、学習の充実やよりよい人間関係の構築、自分のよさを見つけられる活動を行っていく必要があるとかがえる。  
 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」と回答した割合が全国平均を大きく上回っていることから、道徳科において、「考え、議論する道徳」の実践ができているとかがえる。

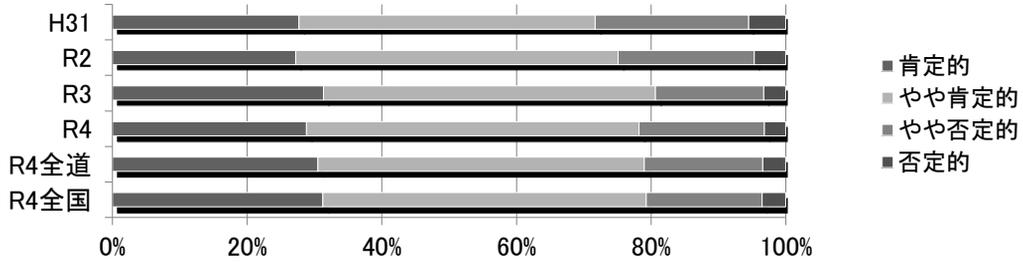
16 学校に行くのは楽しい。



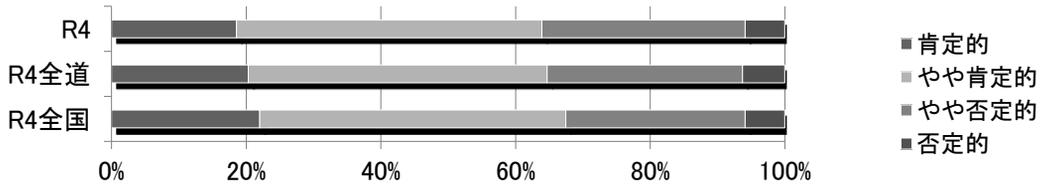
38 1, 2年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



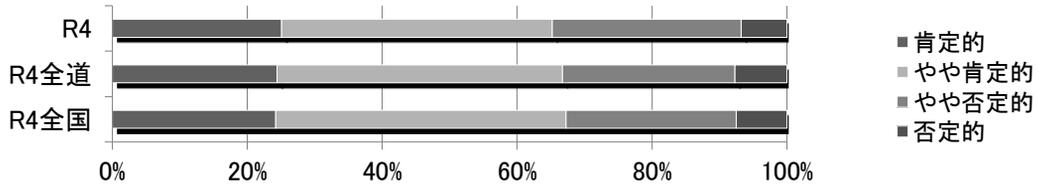
39 1, 2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



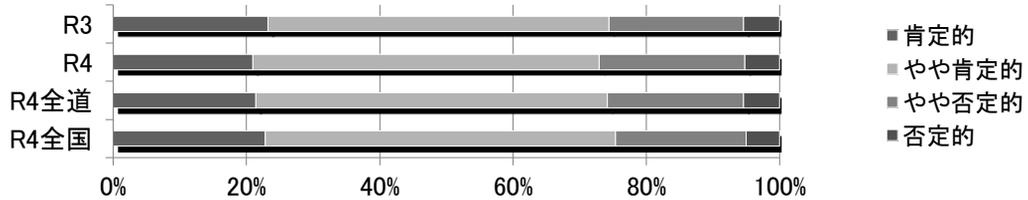
40 1, 2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。(新設問)



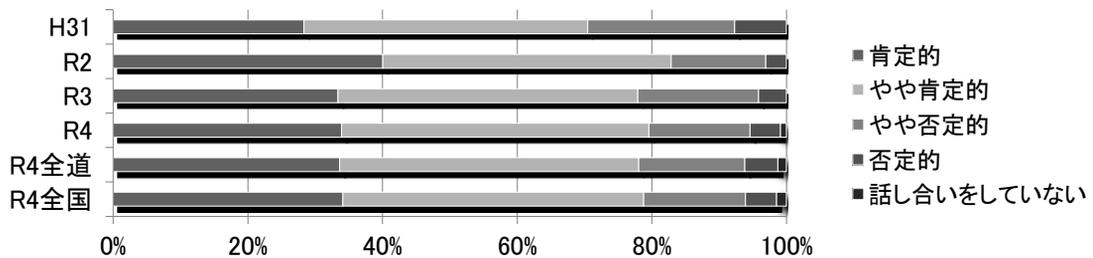
41 1, 2年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていた。(新設問)



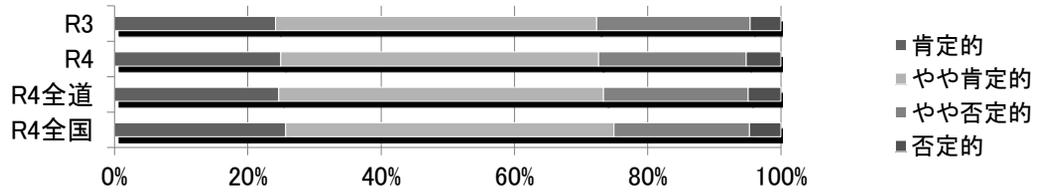
42 1, 2年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。



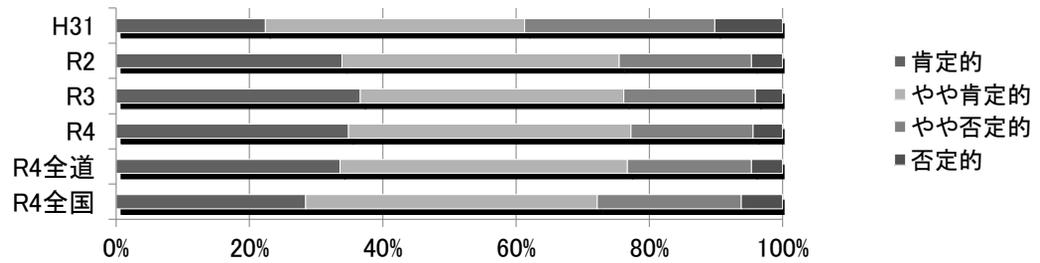
43 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



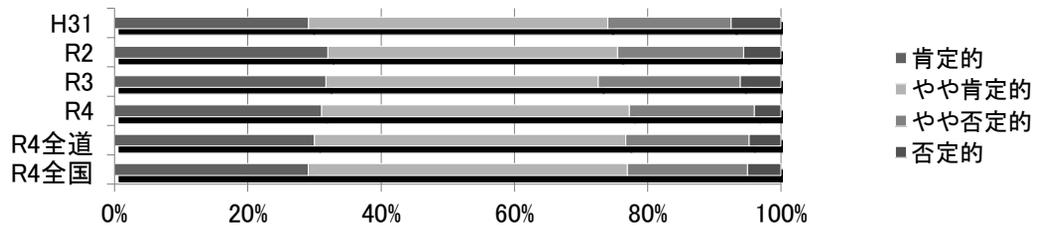
44 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。



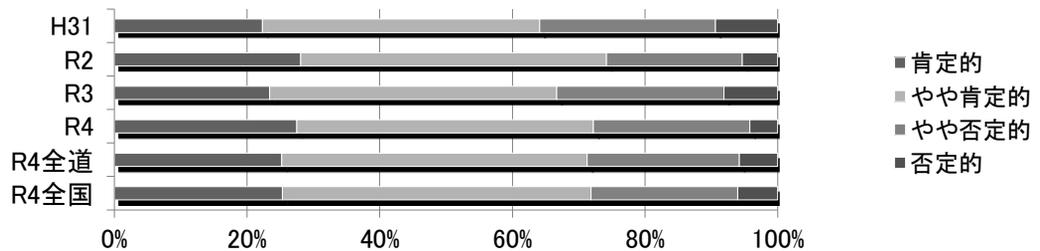
45 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



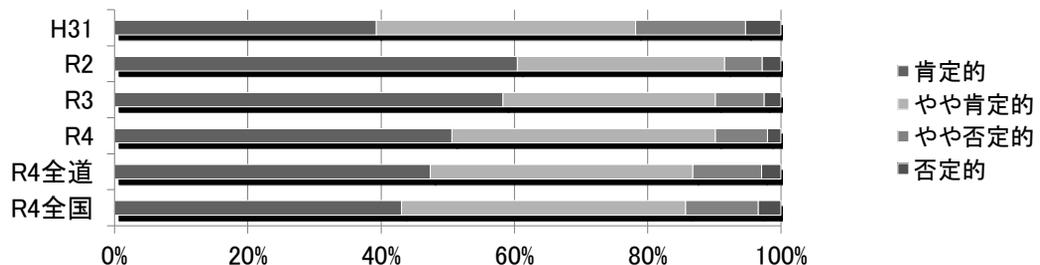
46 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。



47 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

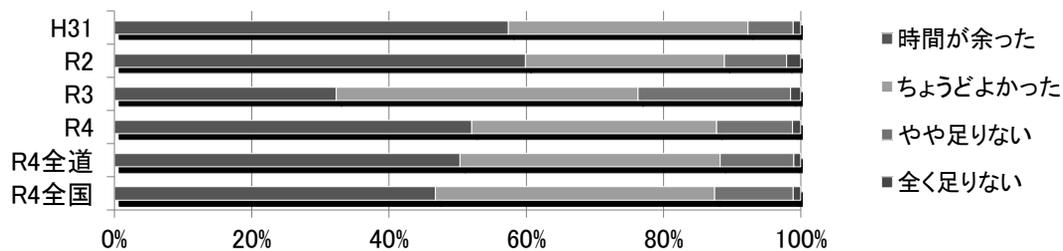


48 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

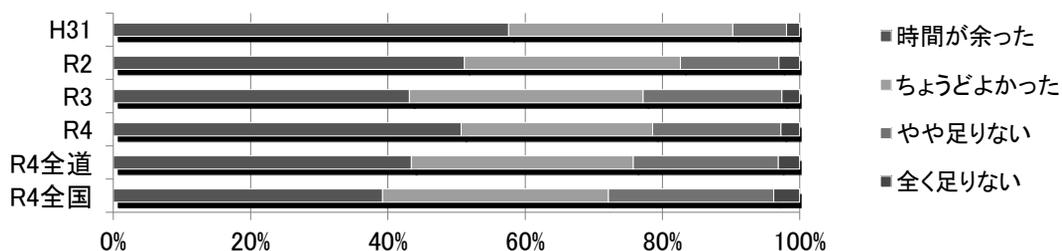


## 調査問題の解答時間

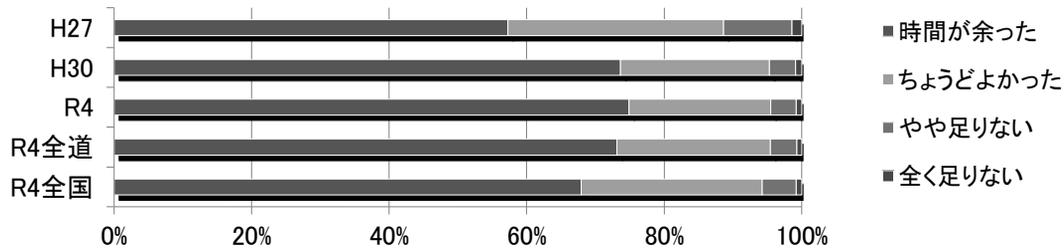
国(2) 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



数(2) 調査問題（数学）の解答時間は十分だった。



理(2) 調査問題（理科）の解答時間は十分だった。



# 令和4年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

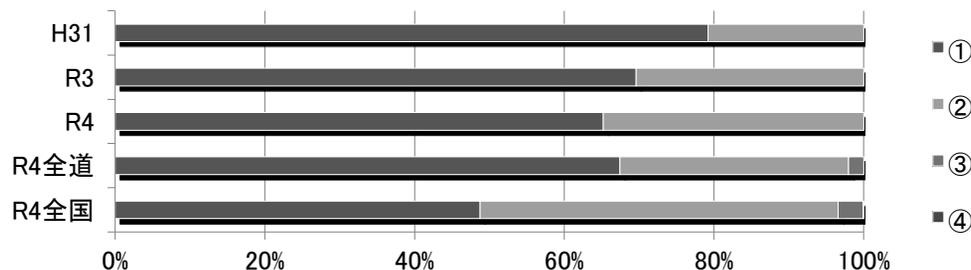
## 学力向上に向けた取組

### 〈家庭学習〉

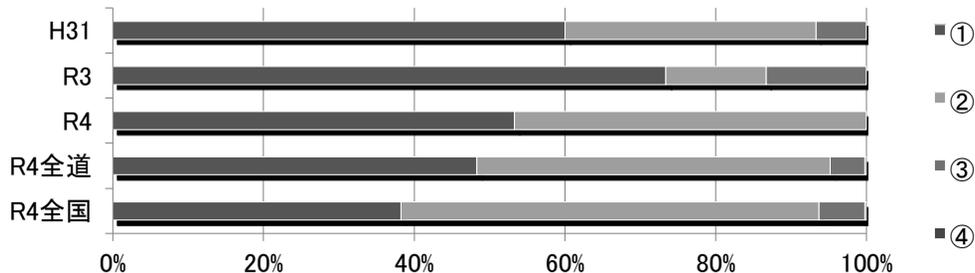
- ◆ 家庭学習の取組について、学習方法等を具体例を挙げながら教えた。

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行っていない ④全く行っていない

【小学校】



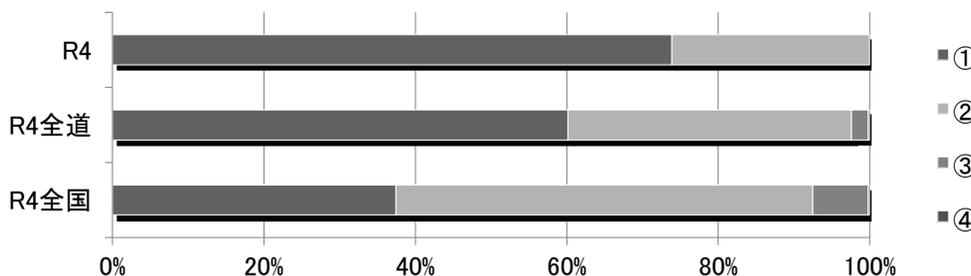
【中学校】



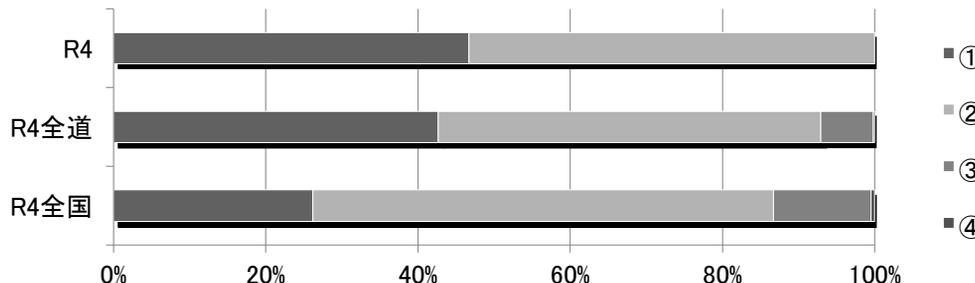
- ◆ 調査対象学年の児童生徒の保護者に対して、前年度までに、児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った。（新設問）

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行っていない ④全く行っていない

【小学校】



【中学校】



【考察】

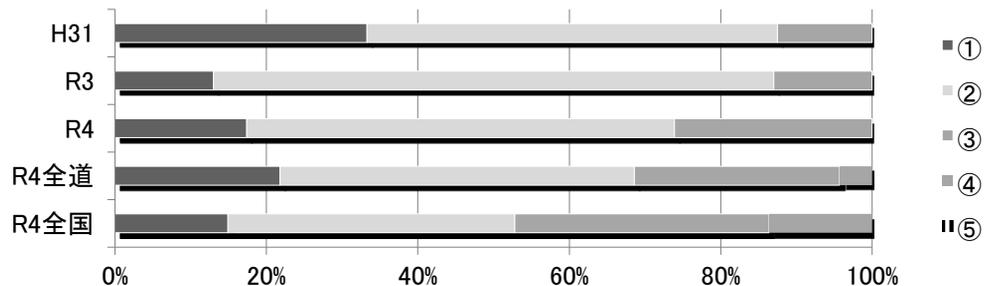
小・中学校とも、「家庭学習の取組について、学習方法等を具体例を挙げながら教えた。」「生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った。」と回答した割合が、全国平均を大きく上回っている。一方で、児童生徒質問紙調査の回答では、1日の学習時間が全国平均を下回っているという結果がある。児童生徒が、毎時間の授業の中で、自分の学習を振り返り、わからなかったところを自ら補充していくような家庭学習が必要であるとうかがえる。

## 〈小中連携の取組〉

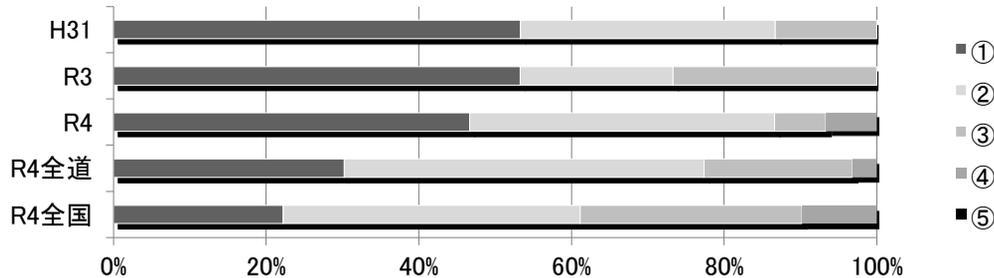
- ◆ 近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った。

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行わなかった ④全く行わなかった ⑤その他、無回答

### 【小学校】



### 【中学校】



### 【考察】

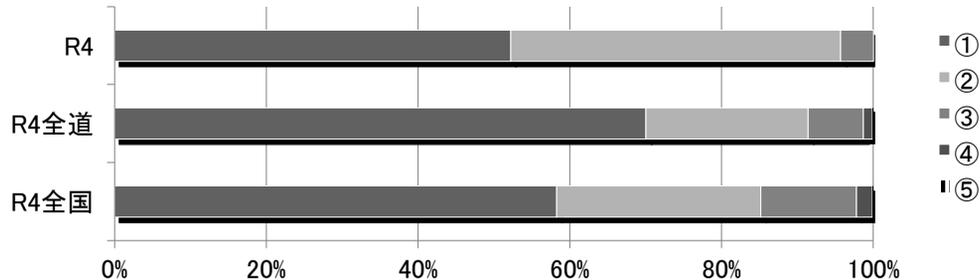
小・中学校とも、「よく行った」または「どちらかといえば行った」と回答した割合が、全国平均を上回っている。「Tomakomai All-9」を推進し、9年間で児童・生徒を育てていくという取組の成果が出てきているとかがえる。今後も、より効果的な小中連携を行っていく必要があるとかがえる。

## ICT機器の活用

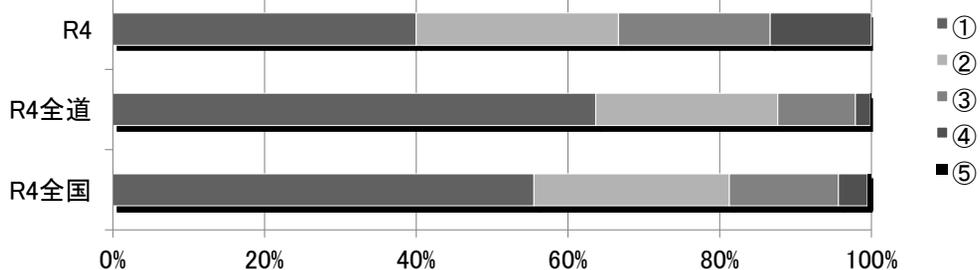
- ◆ 調査対象の児童生徒に対する指導において、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用したか。（新設問）

①ほぼ毎日 ②週3回以上 ③週1回以上 ④月1回以上 ⑤月1回未満

### 【小学校】



### 【中学校】



### 【考察】

PC・タブレットなどのICT機器を「週3回以上」活用していると回答した割合が全国平均を大きく下回っている。ネットワークの接続状況の改善が必要という課題もあるが、効果的な活用方法や業務の効率化について情報をたくさん発信し、活用状況を改善することが必要であるとうかがえる。